

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	トータルビューティーⅠ (エステ基礎)	学年	1年
担当教員	森田 光子・黒羽 明美	学科	トータルビューティー科	時間数	130コマ
授業内容	(一般社団法人)日本エステティック協会が定める認定講師、カリキュラム、施設、設備に基づき、 エステティックに関するフェイシャルの基礎知識・技術を理解し実践する能力を身につける				
授業目標	(一般社団法人)日本エステティック協会のAjesthe認定フェイシャルエステティシヤンの資格取得 エステティックの知識と技術の習得				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。エステティック協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	教材配布、授業ルールについて、消毒方法 技術編Ⅰ座学（フェイシャルエステティック）	16			
2	Capter1（エステティック概論）身嗜み準備の確認 ポイントメイククレンジング〜 レンジング（ウイック使用）	17			
3	Capter11（エステティックの基礎知識）ご誘導〜ポイントメイククレンジング〜クレ レンジング（相モデル）	18			
4	ご誘導〜ポイントメイククレンジング〜レンジング〜スチームタオル（相モデル）	19			
5	Capter13（フェイシャルエステティックの基礎知識） レンジング復習（相モデル） マッサージ導入	20			
6	レンジング〜マッサージ（相モデル）	21			
7	レンジング〜マッサージ（相モデル）	22			
8	レンジング〜マッサージ（相モデル）	23			
9	レンジング〜マッサージ 総復習（相モデル）	24			
10	レンジング、マッサージ復習 パック	25			
11	レンジング、マッサージ復習 ディープレンジング（酵素・スティーマー）	26			
12	レンジング、マッサージ復習 ディープレンジング（角質除去剤）	27			
13	レンジング、マッサージ復習 ディープレンジング（角質除去剤）	28			
14	レンジング、マッサージ復習 ディープレンジング（フリマトール）	29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度		科目名	トータルビューティーⅠ (ネイル基礎)	学年	1年
担当教員	高田 雅恵・高橋 絵美		学科	トータルビューティー科	時間数	130コマ
授業内容	JNAテクニカルシステムに沿ってネイル基礎理論・ネイルケアを学びネイリスト検定3級取得を目指す。					
授業目標	ネイリスト検定3級取得					
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。					
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師					
授業計画及び学習の内容						
1	道具の配布、セッティングについて	16				
2	学科（ネイルの歴史、技術体系、爪の構造）	17				
3	ネイルケアについて、デモ、実践	18				
4	カラーリングについて、デモ、実践	19				
5	相モデルネイリスト検定3級対策	20				
6	相モデルネイリスト検定3級対策	21				
7	相モデルネイリスト検定3級対策	22				
8	相モデルネイリスト検定3級対策	23				
9	相モデルネイリスト検定3級対策	24				
10	相モデルネイリスト検定3級対策	25				
11	検定仕込み	26				
12		27				
13		28				
14		29				
15		30				

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	トータルビューティーⅠ （メイク基礎）	学年	1年
担当教員	荒井 貴代	学科	トータルビューティー科	時間数	130コマ
授業内容	クレンジングからフルメイクまで、メイクアップの基礎を習得する				
授業目標	メイク技術の基本となる立体・グラデーション・カラーバランス・質感を理解し、設定された時間内でメイクアップを施せるスキル習得を目標とする。 基本を軸にナチュラルメイク、イメージメイクなどモデルに合わせたメイク技術を習得する。 TSBSメイクディプロマ プライマリー試験の合格を目指す。 スキンケア・ベースメイク・ポイントメイクスキル・フルメイク基礎の総仕上げを行う。 また、顔型別のメイク技術・印象別メイク技術やメイクの応用技術を習得する。 撮影等も行い、メイクスキル基礎の習得を目標とする。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、メイクアップアーティスト・化粧品会社等での実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	道具の名称、メンテナンスセッティング	16	【立体感基礎と応用（修整を含む）】 基本的立体感（シャドー、ハイライト）		
2	道具に触れてみる、基本のスキンケア	17	顔型別立体感（修整としてのシャドー、ハイライト）		
3	相モデルで、クレンジング、スキンケア（モデルの肌に合わせたスキンケア）	18	【シャープなメイク】 アイメイク、シャープな目元（つり目） アイシャドー		
4	【ナチュラルメイク（基本的なメイク）】 ベースメイク（下地クリーム、コントロールカラー、コンシーラについて）	19	アイメイク、シャープな目元（つり目） アイライン		
5	ベースメイク（ファンデーションの基礎）	20	チーク シェーディングとチーク		
6	ベースメイク（ファンデーションとパウダー）	21	シャープなメイク全体仕上げ		
7	ベースメイク～アイシャドー（アイカラー）	22	【愛らしいメイク】 アイメイク 丸みのある目元（タレ目） アイシャドー		
8	ベースメイク～アイライン	23	アイメイク、丸みのある目元（タレ目） アイライン		
9	ベースメイク～マスカラ（ビューラーを含む）	24	チーク 愛らしいチーク		
10	ベースメイク～アイブロウ	25	愛らしいメイク全体仕上げ		
11	ベースメイク～チーク	26	【ナチュラルメイク応用】 モデルに合わせたメイク		
12	ベースメイク～口紅	27	【ナチュラルメイク応用】 イメージに合わせたメイク（デザイン画に基づいて仕上げる）		
13	ナチュラルメイク全体仕上げ（フルメイク）	28	写真撮影を意識したメイクを学ぶ（写真の撮り方、アングルを学ぶ）		
14	プライマリー試験の試験対策	29			
15	メイクプライマリー試験実施	30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	トータルビューティーⅡ （トータルメイク）	学年	1 年
担当教員	荒井 貴代	学科	トータルビューティー科	時間数	122コマ
授業内容	肌質別やプロポーション、パーソナル別のスキンケアとメイク技術を習得する。				
授業目標	様々な肌質による最適なスキンケア方法やファンデーションのあり方、 一重・二重・奥二重など様々な目元に最適なアイメイク手法、 顔型・目元・唇のプロポーション別による手法など、パーソナル別に対応できるメイクの技術を習得する。 BAとしての基本を知る。 「メイクアドバンス」の修得。 写真に映えるアングルを学ぶ。				
成績評価方法	"試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。"				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、メイクアップアーティスト・化粧品会社等での実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	【BAになる為の実習】	16			
2	BAについて学ぶ（現役BAによる）	17			
3	【メイクアドバンス】	18			
4	【シャープなメイク】 〈ベースメイク〉 立体感：シャドー、ハイライトを駆使してシャープなベースに整える。	19			
5	〈アイメイク〉 切れ長な目元を作る（アイシャドー・アイライン・マスカラ）	20			
6	〈チーク〉 骨格を強調したシャープなチーク（シェーディングの活かし方）	21			
7	全体仕上げ	22			
8	【ソフトな（丸みのある）メイク】 〈ベメイク〉 立体感：シャドー、ハイライトをベースの段階から付け、丸みのある顔を作る	23			
9	〈アイメイク〉 丸みのあるタレ目を作る（アイシャドー・アイライン、マスカラ）	24			
10	〈チーク〉 丸みを出す入れ方	25			
11	全体仕上げ	26			
12	【シャープなメイク】試験	27			
13	【ソフトな（丸みのある）メイク】試験	28			
14	【写真撮影を意識したメイクを学ぶ】 写真の撮り方、アングルを学ぶ（プロのカメラマンに学ぶ）	29			
15	【写真撮影を意識したメイクを学ぶ】 実際に自撮りをする	30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	トータルビューティーⅡ (トータルネイル)	学年	1年
担当教員	高橋 絵美・小川 いずみ	学科	トータルビューティー科	時間数	122コマ
授業内容	JNAテクニカルシステム〜ジェルネイル〜に沿ってジェルネイル基礎理論・ジェルネイル技術を学び、ジェルネイル技能検定初級取得を目指す。				
授業目標	ジェルネイル検定初級取得				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	ジェルネイル基礎理論	16			
2	ジェルネイル検定初級について	17			
3	ジェルの塗り方、デモ、実践	18			
4	ジェルアートについて、デモ、実践	19			
5	相モデル ジェル検定初級対策	20			
6	相モデル ジェル検定初級対策	21			
7	相モデル ジェル検定初級対策	22			
8	相モデル ジェル検定初級対策	23			
9	相モデル ジェル検定初級対策	24			
10	検定仕込み	25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	トータルビューティーⅡ (トータルエステ)	学年	1年
担当教員	入江 幹・岡田 紀江	学科	トータルビューティー科	時間数	122コマ
授業内容	一般社団法人日本エステティック協会が定める認定講師、カリキュラム、施設、設備に基づき、 エステティックに関するフェイシャル・ボディの基礎知識・技術を理解し実践する能力を身につける				
授業目標	エステティック試験センターの「技術力確認試験」「センター試験」の資格取得 真のエステティシャンとして成長するために必要なエステティックの知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育む				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。エステティック協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	カウンセリング	16			
2	カウンセリング	17			
3	スキンチェック	18			
4	ディープクレンジング	19			
5	ディープクレンジング	20			
6	ボディエステティックとは	21			
7	ボディエステティックとはの目的と効果	22			
8	事前準備とカウンセリング	23			
9	ボディ観察	24			
10	禁忌事項	25			
11	ボディマッサージ	26			
12	ボディマッサージ	27			
13	骨格系	28			
14	ボディマッサージ	29			
15	リンパ系	30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーサイエンス (衛生)	学年	1年
担当教員	佐藤 順子	学科	トータルビューティー科	時間数	7コマ
授業内容	お客様に常に最高のサービスを提供できるよう、自身の心身の健康に留意すると共に常に公衆衛生の向上を心がける必要がある。 そこで、公衆衛生・衛生管理について学ぶ。 衛生の授業で伝える内容は、「財団法人日本エステティック研究財団」発行の「エステティック業務に関する衛生措置の適正化基準」がガイドラインとなっている。				
授業目標	メイク、ネイル、エステティックは、お客様の肌や身体に直接触れて施術を行うため、常に衛生基準の順守に努めなければなりません。 また、お客様の心身の健康維持、増進に貢献するためにも衛生管理は最も大切な義務である。 安全で安心なサービス実践の為に公衆衛生の意義を学び、 お客様に提供する快適な環境とは具体的にどのようなものであるかと考え、実践していくことを目的とする。 私たちの健康状態は、季節や風土、住環境、外的環境、加齢による変化に伴って、微生物に対する感受性や免疫力の変化が現れる。 皮膚の常在菌や病原微生物、細菌、ウイルスなどについて正しい知識を学び、 消毒の具体的な方法と消毒剤の特徴と使用法の習得を目標とする。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 サロンでの経験と認定講師として長年に渡り講義を行っている				
授業計画及び学習の内容					
1	衛生管理の考え方	16			
2	感染症について	17			
3	感染経路について	18			
4	正しい手洗いの方法	19			
5	消毒方法について	20			
6	器具・備品の洗浄消毒の手順	21			
7	エステティック衛生基準①	22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーサイエンス (栄養)	学年	1 年
担当教員	黒羽 明美	学科	トータルビューティー科	時間数	18コマ
授業内容	栄養学の基礎知識・健康と栄養・サプリメント・食品添加物				
授業目標	人と食物との関係を科学的に明らかにし、食生活を通して人の健康の維持・増進を図ることを目的とし、人間の栄養問題、特に栄養素の必要量、食品成分、食料と健康などの広範な分野を取り扱い、摂取した食物の消化吸収について理解するとともに、各種栄養素の栄養学的意義と働きを学びます。さらに健康と美容と食品についても学んでいきます。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 サロンでの経験と認定講師として長年に渡り講義を行っている				
	授業計画及び学習の内容				
1	栄養素の種類・5大栄養素・栄養価・栄養所要量	16			
2	食物摂取とその消化吸収	17			
3	栄養学からみた食品	18			
4	栄養状態の判定・肥満	19			
5	中・老年期の判定	20			
6	美容と栄養	21			
7	サプリメント	22			
8	食品添加物	23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーサイエンス (解剖生理学)	学年	1年
担当教員	黒羽 明美	学科	トータルビューティー科	時間数	40コマ
授業内容	身体の基本・骨格系・筋系・神経系・感覚・内分泌系・呼吸器系・循環器系・消化器系・泌尿器系・生殖器・運動生理学について学ぶ				
授業目標	人を施術する際、人の身体に触れ筋肉やリンパ節も正確な位置を確かめ心身の様々な反応を確認しながら施術方法を調整できるよう常に身体の「はたらき」と「つくり」を解剖生理学として学んでいく。 同時に、運動するにあたっての身体の動きを学ぶ。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 サロンでの経験と認定講師として長年に渡り講義を行っている				
授業計画及び学習の内容					
1	解剖学とは	16	心臓の構造・血液循環		
2	身体の構造・身体の設計図	17	心臓の興奮伝達系		
3	身体を構成する物質・必要な物質	18	リンパ系		
4	血液・物質運搬	19	消化器系の構造		
5	体区分	20	腎臓とは		
6	骨格・筋肉系	21	副腎とは		
7	神経細胞・神経系の種類	22	月経のメカニズム		
8	中枢神経系	23	妊娠		
9	末梢神経系	24	胚葉分化		
10	感覚～外界情報の収集	25			
11	内分泌系の役割	26			
12	各内分泌腺とホルモンの種類	27			
13	呼吸のあらまし・外呼吸と内呼吸	28			
14	呼吸器の構造・呼吸運動	29			
15	呼吸運動の調節	30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーサイエンス (皮膚)	学年	1 年
担当教員	入江 幹	学科	トータルビューティー科	時間数	28コマ
授業内容	皮膚とスキンケアの関係を、「1. 皮膚の基本知識」、「2. 美容上大切な皮膚の6つの働き」、「3. 肌の美しさを損ねる要因」、「4. さまざまな肌状態」、「5. 肌と環境」、「6. 肌分析」の6視点から学ぶ。				
授業目標	皮膚は私たちの身体を守るバリアとして、体表面全体に覆う最大の臓器である。紫外線や乾燥などの影響を防ぎ、身体内部のホメオスタシスに大きな役割を果たしている。 一方、皮膚自身のもつ見た目や触ったときの感触は人の美しさや健康度を表現するうえで重要な要素となっている。 皮膚はまさに美と健康を守るバリアであると同時にその美しさを映し出す鏡でもある、つまり皮膚は「強く美しいバリア」の必要性がある。 この皮膚の働きとしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケア方法を学ぶことを目的とする。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 サロンでの経験と認定講師として長年に渡り講義を行っている				
授業計画及び学習の内容					
1	皮膚の大切な役割	16	肌への影響について		
2	皮膚の基本（構造と働き）	17	総復習		
3	美容に大切な皮膚の働き（皮膚膜・角質層バリア）	18			
4	美容に大切な皮膚の働き（皮膚ターンオーバー・メラノサイトの働き）	19			
5	肌タイプとお手入れのポイント	20			
6	さまざまな皮膚の状態とお手入れのポイント	21			
7	季節と肌について	22			
8	Chapter 5 総復習	23			
9	加齢について	24			
10	光老化について	25			
11	女性ホルモンと肌への影響	26			
12	ストレスと肌への影響	27			
13	夏休み前の総復習	28			
14	肌荒れと敏感肌	29			
15	皮膚疾患について	30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度		科目名	ビューティーサイエンス (化粧品学)	学年	1 年
担当教員	山口 快絵		学科	トータルビューティー科	時間数	14コマ
授業内容	化粧品概論・フェイシャル化粧品・ボディ化粧品・メイクアップ化粧品 ネイル化粧品・ヘアケア化粧品・フレグランス 化粧品の原料・化粧品に用いられる薬剤とその働き					
授業目標	化粧品基材の保水効果やオイルシール効果などを把握することで肌との適合性を高める為、化粧品の法律上の取り扱いや分類、取り扱い上の留意点、そして化粧品の目的と機能、使用する主な原料を学ぶ。					
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。					
授業の方法 及び 講師紹介	講義 サロンでの経験と知識と経験を活かし分かり易く講義する					
授業内容及び学習の内容						
1	化粧品概論①	16				
2	化粧品概論②	17				
3	化粧品概論③	18				
4	化粧品の原料①	19				
5	化粧品の原料②	20				
6	化粧品の原料③	21				
7	化粧品に用いられる薬剤とその働き①	22				
8	化粧品に用いられる薬剤とその働き②	23				
9	化粧品に用いられる薬剤とその働き③	24				
10	化粧品に用いられる薬剤とその働き①	25				
11	化粧品に用いられる薬剤とその働き②	26				
12	ボディ化粧品①	27				
13	ボディ化粧品②	28				
14	まとめ	29				
15		30				

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーサイエンス (ネイル学科)	学年	1年
担当教員	高橋 絵美	学科	トータルビューティー科	時間数	24コマ
授業内容	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～に沿ってジェルネイル、ネイルケアに関する理論的知識の習得。				
授業目標	ジェルネイル技能検定初級筆記試験合格、ネイルに関する理論的知識の習得を目的とする。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	ジェルネイル概論	16			
2	ジェルネイル材料の基礎理論	17			
3	ジェルネイルの技術形態	18			
4	爪の構造と働き	19			
5	ジェルネイルの用具用材	20			
6	ジェルネイル用具の衛生管理	21			
7	爪の病気	22			
8	JNAジェルネイル技能検定試験の基本情報	23			
9	JNAジェルネイル技能検定試験初級	24			
10	過去問題を使用した試験対策	25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度		科目名	ビューティサイエンス (メイク学科)	学年	1年
担当教員	荒井 貴代		学科	トータルビューティー科	時間数	24コマ
授業内容	美容部員として必要な能力、知識の習得					
授業目標	化粧品学の知識・接客販売の知識を学ぶ。 学んだ知識を活かした接客ロープレを行い、美容部員としての能力を身に付ける。					
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。					
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、メイクアップアーティスト・化粧品会社等での実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。					
授業計画及び学習の内容						
1	皮膚理論	16				
2	化粧品ブランドについて	17				
3	化粧品学	18				
4	接客販売	19				
5	肌悩みと解決策	20				
6	接客について	21				
7	接客ロールプレイング	22				
8		23				
9		24				
10		25				
11		26				
12		27				
13		28				
14		29				
15		30				

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーサイエンス (エステ解剖)	学年	1年
担当教員	黒羽 明美	学科	トータルビューティー科	時間数	16コマ
授業内容	(一般社団法人) 日本エステティック協会が定める認定講師、カリキュラム、施設、設備に基づき、 エステティックに関する解剖学・皮膚化学の基礎知識を理解し実習との関連性を理解し実践する能力を身につける				
授業目標	エステティック試験センターの「技術力確認試験」「センター試験」の資格取得真のエステティシャンとして成長するために必要なエステティックの知識と技術、 ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育む一般社団法人日本エステティック協会の「Ajesthe上級認定エステティシャン」取得の為の知識を身につける				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。エステティック協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	<解剖学> 生命と適応進化の歴史/ホメオスタシスとは/ホメオスタシスを制御するしくみ/身体の基本 /骨格系・筋系	16			
2	<解剖学> 神経系/感覚/内分泌/呼吸器系/循環器系/消化器系/泌尿器系/生殖器系	17			
3	<解剖学> 運動生理学とは/運動とアンチエイジング/運動と代謝/運動プログラム/姿勢・ポジショ ニング/運動の実際	18			
4		19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーサイエンス (エステ皮膚)	学年	1年
担当教員	入江 幹	学科	トータルビューティー科	時間数	8コマ
授業内容	(一般社団法人)日本エステティック協会が定める認定講師、カリキュラム、施設、設備に基づき、 エステティックに関する解剖学・皮膚化学の基礎知識を理解し実習との関連性を理解し実践する能力を身につける				
授業目標	エステティック試験センターの「技術力確認試験」「センター試験」の資格取得真のエステティシャンとして成長するために必要なエステティックの知識と技術、 ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育む一般社団法人日本エステティック協会の「Ajesthe上級認定エステティシャン」取得の為の知識を身につける				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。エステティック協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	<皮膚> 新エステティック学Ch3 Lesson11・2	16			
2	<皮膚> 新エステティック学Ch3 Lesson13・4	17			
3	<皮膚> 総復習	18			
4		19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティービジネス (就職)	学年	1年
担当教員	荒井 貴代	学科	トータルビューティー科	時間数	12コマ
授業内容	ビジネスマナーの重要性を確認し社会人としての品位向上を図る基礎を学び「社会人」としての自覚を促すことで、立ち居振る舞いの学習と意識向上を目指す。 社会人としての基本的スキルであるビジネスマナーを身に付け、「学生」から「社会人・組織人」への意識変革への知識・行動変容を行う。 また、美容接客サービス業に就くうえでの就職対策も行う。				
授業目標	女性の美しさは、容姿だけではなく、その挙措に大きく左右される。 素晴らしい笑顔は勿論のこと、優雅で落ち着いた立ち居振る舞いを身に付けることで、お客様に快い印象と安心感を与える。 常に相手の立場にたったサービスを提供し、やすらぎと満足を与える中で信頼関係を構築するためには、優れた技術と正確な理論の上に、正しいマナーホスピタリティマインドを体得することが重要であることから、基本からサロンワークにいたるまでの接客マナーを習得する。 サービス接遇検定3級合格を目標とする。				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員はビジネス検定や接遇等の指導、教育を永年致しており、分かり易く指導する				
授業計画及び学習の内容					
1	サービススタッフの資質① お辞儀 必要とされる要件	16			
2	サービススタッフの資質② 身だしなみの基本 従業員要件	17			
3	専門知識 サービス知識、商業用語、経済用語	18			
4	一般知識 社会常識	19			
5	対人技能① 人間関係・接遇知識	20			
6	検定対策	21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度		科目名	ビューティービジネス (就職)	学年	1年
担当教員	北村 剛大・荒井 貴代		学科	トータルビューティー科	時間数	44コマ
授業内容	ビジネスマナーの重要性を確認し社会人としての品位向上を図る基礎を学び「社会人」としての自覚を促すことで、立ち居振る舞いの学習と意識向上を目指す。 社会人としての基本的スキルであるビジネスマナーを身に付け、「学生」から「社会人・組織人」への意識変革への知識・行動変容を行う。 また、美容接客サービス業に就くうえでの就職対策も行う。					
授業目標	女性の美しさは、容姿だけではなく、その挙措に大きく左右される。 素晴らしい笑顔は勿論のこと、優雅で落ち着いた立ち居振る舞いを身に付けることで、お客様に快い印象と安心感を与える。 常に相手の立場にたったサービスを提供し、やすらぎと満足を与える中で信頼関係を構築するためには、優れた技術と正確な理論の上に、正しいマナーホスピタリティマインドを体得することが重要であることから、基本からサロンワークにいたるまでの接客マナーを習得する。就職活動として企業説明会を開催する					
成績評価方法	・出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）					
授業の方法 及び 講師紹介	企業説明・講義 担当教員は永年教育に携わり、業界についてのアドバイスを行う事が出来る					
授業計画及び学習の内容						
1	コース分けガイダンス	16				
2	企業説明会①	17				
3	企業説明会②	18				
4	プロから学ぶ（体験授業）	19				
5	就職活動（自己分析）	20				
6	就職活動（エントリーシート作成について）	21				
7	就職活動（面接対策）	22				
8	就職活動ガイダンス	23				
9		24				
10		25				
11		26				
12		27				
13		28				
14		29				
15		30				

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティービジネス (マナー)	学年	1年
担当教員	松岡 麻耶	学科	トータルビューティー科	時間数	24コマ
授業内容	ビジネスマナーの重要性を確認し社会人としての品位向上を図る基礎を学び「社会人」としての自覚を促すことで、立ち居振る舞いの学習と意識向上を目指す。 社会人としての基本的スキルであるビジネスマナーを身に付け、「学生」から「社会人・組織人」への意識変革への知識・行動変容を行う。 また、美容接客サービス業に就くうえでの就職対策も行う。				
授業目標	女性の美しさは、容姿だけではなく、その挙措に大きく左右される。 素晴らしい笑顔は勿論のこと、優雅で落ち着いた立ち居振る舞いを身に付けることで、お客様に快い印象と安心感を与える。 常に相手の立場にたったサービスを提供し、やすらぎと満足を与える中で信頼関係を構築するためには、優れた技術と正確な理論の上に、正しいマナーホスピタリティマインドを体得することが重要であることから、基本からサロンワークにいたるまでの接客マナーを習得する。 サービス接客検定3級合格を目標とする。				
成績評価方法	・ 出欠80％・ 課題に対しての習熟度、提出物10％・ 授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員はビジネス検定や接客等の指導、教育を永年致しており、分かり易く指導する				
授業計画及び学習の内容					
1	マナー研修① 接客とマナー	16			
2	マナー研修② モチベーションアップ研修	17			
3	マナー研修③ ビジネスマナー研修	18			
4	マナー研修④ 接客マナー研修	19			
5	マナー研修⑤ ビジネス電話対応、ビジネス文書研修	20			
6	マナー研修⑥ コミュニケーション基礎研修	21			
7	マナー研修⑦ ホスピタリティ研修	22			
8	マナー研修⑧ フレッシュャーズ研修	23			
9	マナー研修⑨ 接客CS向上研修	24			
10	マナー研修⑩ プレゼンテーション&パワーポイント研修	25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーベーシック (アレンジ)	学年	1年
担当教員	八木 美紀	学科	トータルビューティー科	時間数	2コマ
授業内容	美しさの基本となる、様々な分野の基礎を学び、美容家としての意識を養うと共に、技術の向上、チャレンジ精神、ホスピタリティマインドの意識の向上、育成を目指す				
授業目標	ヘアーという3次元のものを、美しく見せるテクニック、技術を習得し、基本的なアレンジのパターンを学ぶ				
成績評価方法	・出欠80％・課題に対するの習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、美容室での実務経験があり、長年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	<ヘアアレンジ> 授業実習時のヘアスタイル演習（夜会巻き・シニヨンなど）	16			
2	<ヘアアレンジ> ヘッドマッサージ	17			
3		18			
4		19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーベーシック (リフレ)	学年	1年
担当教員	佐藤 順子	学科	トータルビューティー科	時間数	15コマ
授業内容	<リフレクソロジー>主に足裏の特定部位を押せば体の特定部位に変化が起こるという考えに基づき、疲労の改善などを図る。				
授業目標	多種多様な美容技術を習得し興味を持たせる				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義・実技 サロンでの経験と認定講師として長年に渡り講義を行っている				
授業計画及び学習の内容					
1	<リフレクソロジー> ツボ・反射・マッサージ方法などを学ぶ	16			
2	<リフレクソロジー> 実習	17			
3	<リフレクソロジー> 確認テスト	18			
4		19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度		科目名	ビューティーベーシック (ヨガ)	学年	1年
担当教員	松野 華織		学科	トータルビューティー科	時間数	6コマ
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、 生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する					
授業目標	エステティシャンに必要な正しい知識、 技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 人体の構成（筋肉・骨格系） 姿勢やホームケアの運動の実践のアドバイスに生かす					
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）					
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、yogaのインストラクターであり永年の経験や知識により、分かり易い授業展開を行う					
授業計画及び学習の内容						
1	ヨガ	16				
2	ヨガ	17				
3	ヨガ	18				
4		19				
5		20				
6		21				
7		22				
8		23				
9		24				
10		25				
11		26				
12		27				
13		28				
14		29				
15		30				

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度		科目名	ビューティーベーシック (アウトプットプログラム)	学年	1年
担当教員	北村 剛大・荒井 貴代		学科	トータルビューティー科	時間数	13コマ
授業内容	SNSマーケティングの基礎知識の習得及び撮影時術の向上（写真・動画）					
授業目標	・ SNS基礎（セキュリティ、ルール） ・ 実際にモデルのヘアメイクを行い撮影					
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対するの習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）					
授業の方法 及び 講師紹介						
授業計画及び学習の内容						
1	SNS導入		16			
2	撮影のやり方		17			
3	作品作りと撮影		18			
4	動画を発表する		19			
5			20			
6			21			
7			22			
8			23			
9			24			
10			25			
11			26			
12			27			
13			28			
14			29			
15			30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度		科目名	ビューティーリレーション	学年	1年
担当教員	北村 剛大・荒井 貴代		学科	トータルビューティー科	時間数	167コマ
授業内容	個々の能力や才能に応じた知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、それを通じて人格を形成し、社会に貢献できる人材育成をすることで生涯にわたって成長の機会を提供する。					
授業目標	学校や社会のルールのの必要性を考え、適時対応できる能力と身につける。 職場から求められる美容のプロとなる為の経験と教養を養う。 自主性や協調性を身につけ社会に適応する能力を養う。					
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）					
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、永年に渡り学生指導、企画、運営に多方面より携わり学生に対し真摯に取り組まれている					
授業計画及び学習の内容						
1	入学式	16	始業式			
2	オリエンテーション	17	大掃除			
3	健康診断	18	ボランティア			
4	校外学習	19				
5	授業参観	20				
6	サービス接遇検定	21				
7	校内コンテスト	22				
8	前期実技試験	23				
9	前期学科試験	24				
10	前夜祭	25				
11	学園祭	26				
12	ネイリスト検定試験	27				
13	認定フェイシャル試験	28				
14	後期実技試験	29				
15	後期学科試験	30				

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティービジネス (外部モデル)	学年	2年
担当教員	入江 幹・森田 光子	学科	トータルビューティー科	時間数	120コマ
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する				
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。エステティック協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	外部モデル実践（フェイシャル・ボディ）	16	Ajesthe上級エステティシャン実技試験対策		
2	外部モデル実践（フェイシャル・ボディ）	17	Ajesthe上級エステティシャン実技試験対策		
3	外部モデル実践（フェイシャル・ボディ）	18			
4	外部モデル実践（フェイシャル・ボディ）	19			
5	外部モデル実践（フェイシャル・ボディ）	20			
6	外部モデル実践（フェイシャル・ボディ）	21			
7	外部モデル実践（フェイシャル・ボディ）	22			
8	外部モデル実践（フェイシャル・ボディ）	23			
9	外部モデル実践（フェイシャル・ボディ）	24			
10	外部モデル実践（フェイシャル・ボディ）	25			
11	外部モデル実践（フェイシャル・ボディ）	26			
12	外部モデル実践（フェイシャル・ボディ）	27			
13	Ajesthe上級エステティシャン実技試験対策	28			
14	Ajesthe上級エステティシャン実技試験対策	29			
15	Ajesthe上級エステティシャン実技試験対策	30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティービジネス (サロン)	学年	2年
担当教員	入江幹・森田光子・山口快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	27コマ
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する				
授業目標	エステティシャンに必要な正しい知識、 技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。				
成績評価方法	指定の出席率を上回った場合単位を認める。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	スチューデントサロン（フェイシャル・ボディ）	16			
2	スチューデントサロン（フェイシャル・ボディ）	17			
3	スチューデントサロン（フェイシャル・ボディ）	18			
4	スチューデントサロン（フェイシャル・ボディ）	19			
5	スチューデントサロン（フェイシャル・ボディ）	20			
6	スチューデントサロン（フェイシャル・ボディ）	21			
7	スチューデントサロン（フェイシャル・ボディ）	22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティービジネス (アウトプットプログラム)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	18コマ
授業内容	SNSの特性を知り、スチューデントサロンで集客するための企画をたてる。SNSを活用し集客に繋げるための知識を身に付ける				
授業目標	SNSの特性や、投稿するするための企画力をつけること、投稿のレベルを上げていくことを目的とする				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ヘアメイクの知識とEコマースの実務経験に基づきわかりやすく指導をする				
授業計画及び学習の内容					
1	TikTok、Instagram、YOUTUBE、絵コンテを作る	16			
2	TikTok、Instagram、YOUTUBE、動画の編集	17			
3	ホームページの特性	18			
4	作品どりなど	19			
5	スチューデントサロンの集客	20			
6	発表会	21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティービジネス (ロミロミ)	学年	2年
担当教員	金濱 まり子	学科	トータルビューティー科	時間数	30コマ
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する				
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 世界各国の様々な技術を習得する				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、永年に渡り認定校での指導歴があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	ロミロミ（座学）	16			
2	ロミロミ（サロン）	17			
3	ロミロミ	18			
4	ロミロミ	19			
5	ロミロミ	20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティービジネス (ストーン)	学年	2年
担当教員	武 知奈津	学科	トータルビューティー科	時間数	30コマ
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する				
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、永年に渡り認定校での指導歴があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	ホットストーンセラピー	16			
2	ホットストーンセラピー（サロン）	17			
3	ホットストーンセラピー	18			
4	ホットストーンセラピー	19			
5	ホットストーンセラピー	20			
6	ホットストーンセラピー	21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーサイエンス (上級筆記)	学年	2年
担当教員	岡田 紀江・入江 幹	学科	トータルビューティー科	時間数	18コマ
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する				
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。エステティック協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	試験対策	16			
2	試験対策	17			
3	試験対策	18			
4	試験対策	19			
5	試験対策	20			
6	試験	21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーサイエンス (S対策)	学年	2年
担当教員	岡田 紀江・森田 光子	学科	トータルビューティー科	時間数	24コマ
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する				
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、永年に渡り認定校での指導歴があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	試験対策	16			
2	試験対策	17			
3	試験対策	18			
4	試験対策	19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11	試験対策	26			
12	試験対策	27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーサイエンス (C対策)	学年	2年
担当教員	入江 幹・金濱 まり子	学科	トータルビューティー科	時間数	24コマ
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する。 コンテストに出場するための技術・知識習得				
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力を習得する。				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対するの習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、永年に渡り認定校での指導歴があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	コンテスト対策	16			
2	コンテスト対策	17			
3	コンテスト対策	18			
4	コンテスト対策	19			
5	コンテスト対策	20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーサイエンス (救急)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	4 コマ
授業内容	真のエスティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエスティシャンを育成する				
授業目標	一般社団法人 日本エスティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエスティシャンに必要な正しい知識、 技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力を習得する。 普通救命救急の知識を習得する				
成績評価方法	・消防署で行う普通救命救急講習の修了書 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	熟練された消防署員による救命救急講習の講義を行う				
授業計画及び学習の内容					
1	救命救急	16			
2		17			
3		18			
4		19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2024年度		2025年度	ビューティーベーシック (ヨガ)	学年	2 年
担当教員	松野 華織		学科	トータルビューティー科	時間数	10コマ
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、 生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する					
授業目標	エステティシャンに必要な正しい知識、 技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力を習得する。 人体の構成（筋肉・骨格系）、姿勢やホームケアの運動の実践のアドバイスに生かす					
成績評価方法	80%以上の出席率、授業態度					
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、yogaのインストラクターであり永年の経験や知識により、分かり易い授業展開を行う					
授業計画及び学習の内容						
1	ヨガ		16			
2	ヨガ		17			
3	ヨガ		18			
4	ヨガ		19			
5	ヨガ		20			
6			21			
7			22			
8			23			
9			24			
10			25			
11			26			
12			27			
13			28			
14			29			
15			30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーベーシック (アロマ)	学年	2年
担当教員	武 知奈津	学科	トータルビューティー科	時間数	27コマ
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する				
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識技術、人間性の教育を目的とし高水準の技術力を習得する。 AEAJアロマ環境協会 1 級取得を目指す				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対するの習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員はエステサロン等で実務経験があり経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	アロマセラピーとは	16			
2	精油学	17			
3	安全性	18			
4	実践法	19			
5	メカニズム	20			
6	ビューティー＆ヘルスケア	21			
7	歴史	22			
8	法律	23			
9	クライアントに合わせたアロマブレンドとオイルトリートメント	24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーベーシック (ヘッドマッサージ)	学年	2年
担当教員	森田 光子・入江 幹	学科	トータルビューティー科	時間数	12コマ
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する				
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 様々な手技や将来役立つ技術を習得する				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、美容室での実務経験があり、長年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	ヘッドマッサージ	16			
2	ヘッドマッサージ	17			
3		18			
4		19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーベーシック (メイク)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	12コマ
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、 生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する				
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、 技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 就職時、サロン勤務に必要なメイク技術を習得する				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義・デモンストレーション・校外学習 担当教員は、ヘアメイク等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	ヘア・メイク	16			
2	作品作り	17			
3		18			
4		19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	高度エステティック技術	学年	2年
担当教員	岡田 紀江・金濱 まり子	学科	トータルビューティー科	時間数	95コマ
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する				
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	プリント、教科書、資料を使用した講義・相モデルによる実習・外部クライアント実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。エステティック協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	エステティック理論	16	上級実技試験対策		
2	エステティック理論	17	上級実技試験対策		
3	エステティック理論	18	上級実技試験対策		
4	エステティック理論	19	上級実技試験対策		
5	エステティック理論	20	上級実技試験対策		
6	エステティック理論	21	上級実技試験対策		
7	エステティック理論	22	上級実技試験対策		
8	エステティック理論	23	上級実技試験対策		
9	エステティック理論	24	上級実技試験対策		
10	エステティック理論	25	上級実技試験対策		
11	エステティック理論	26	上級実技試験対策		
12	エステティック理論	27	上級実技試験対策		
13	上級実技試験対策	28			
14	上級実技試験対策	29			
15	上級実技試験対策	30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ボディ総合	学年	2年
担当教員	岡田 紀江・森田 光子	学科	トータルビューティー科	時間数	100コマ
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、 ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する				
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、 技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 プリント、教科書、資料を使用した講義・相モデルによる実習・外部クライアント実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。エステティック協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	電気機器学	16	上級試験対策		
2	低周波理論	17			
3	バイブレーター理論	18			
4	サクション理論	19			
5	ボディエステティックとは	20			
6	ボディエステティックの流れ	21			
7	事前準備・カウンセリング	22			
8	ビフォーカウンセリング	23			
9	食事指導	24			
10	運動法	25			
11	ボディ観察・採寸	26			
12	骨格系	27			
13	筋肉系	28			
14	リンパ系	29			
15	トラブル別オリジナルマッサージ	30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	フェイシャル総合	学年	2年
担当教員	入江 幹・岡田 紀江	学科	トータルビューティー科	時間数	120コマ
授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する				
授業目標	一般社団法人日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 相モデルによる実習・外部クライアント実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。エステティック協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	電気機器学	16	肌タイプ別オリジナルマッサージ		
2	カウンセリング学	17	肌タイプ別オリジナルマッサージ		
3	カウンセリング学	18	肌タイプ別オリジナルマッサージ		
4	スキンチェック	19	肌タイプ別オリジナルマッサージ		
5	肌状態トラブル別対応	20	上級試験対策		
6	アフターカウンセリング	21	上級試験対策		
7	化粧品成分	22	上級試験対策		
8	機器の手入れ	23			
9	スキンチェック	24			
10	バター	25			
11	ディスインクラステーション	26			
12	エレクトロクレンジング	27			
13	イオン導入	28			
14	超音波	29			
15	高周波	30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度		科目名	ビューティーリレーション	学年	2年
担当教員	入江 幹・森田 光子・山口 快絵		学科	トータルビューティー科	時間数	197コマ
授業内容	個々の能力や才能に応じた知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、それを通じて人格を形成し、社会に貢献できる人材育成をすることで生涯にわたって成長の機会を提供する。					
授業目標	学校や社会のルールのの必要性を考え、適時対応できる能力と身につける。 職場から求められる美容のプロとなる為の経験と教養を養う。 自主性や協調性を身につけ社会に適応する能力を養う。					
成績評価方法	・出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）					
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、永年専門学校講師としての経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。					
授業計画及び学習の内容						
1	始業式			22	学園祭・後夜祭	
2	オリエンテーション			23	オリエンテーション	
3	オリエンテーション			24	校内コンテスト	
4	オリエンテーション・サロン準備			25	オリエンテーション	
5	オリエンテーション			26	エステティックコンテスト	
6	授業見学会			27	ボランティア	
7	口頭試問対策			28	スポーツ大会	
8	前期実技試験			29	上級WAX脱毛試験	
9	校外学習			30	校外学習	
10	検定対策			31	上級筆記試験	
11	オリエンテーション			32	後期筆記試験	
12	前期筆記試験			33	後期実技試験対策	
13	エステティックセンター試験			34	後期実技試験	
14	大掃除			35	オリエンテーション	
15	オリエンテーション			36	上級実技試験会場準備	
16	オリエンテーション			37	上級実技試験	
17	サマフェス準備			38	上級実技試験	
18	サマフェス準備			39	オリエンテーション	
19	サマフェス準備			40	研修	
20	サマフェス準備			41	大掃除	
21	学園祭			42	卒業研修	

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーベーシック (アウトプットプログラム)	学年	2 年
担当教員	永本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	18コマ
授業内容	SNSの特徴、属性の違い、ルール、セキュリティ、企画の立て方、動画編集の練習				
授業目標	SNSの特性を知りスチューデントサロンで集客するための企画を立てる SNSを活用し集客に繋げるための知識を身に付ける				
成績評価方法	・出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	tiktok、インスタ、絵コンテなど作ってみる	16			
2	tiktok、インスタ、youtube動画編集	17			
3	ホームページの特性	18			
4	ネイルの専門性が高い講師からの指導	19			
5	スチューデントサロンに向けて何を行うか	20			
6	集客するためのまとめ	21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度		科目名	ビューティーベーシック (ヨガ)	学年	2年
担当教員	松野 華織		学科	トータルビューティー科	時間数	6コマ
授業内容	美容業として成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献する社会人を育成する					
授業目標	ネイリストに必要な正しい知識、 技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 人体の構成（筋肉・骨格系） 姿勢やホームケアの運動の実践のアドバイスに生かす					
成績評価方法	80%以上の出席率、授業態度					
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、yogaのインストラクターであり永年の経験や知識により、分かり易い授業展開を行う					
授業計画及び学習の内容						
1	ヨガ			16		
2				17		
3				18		
4				19		
5				20		
6				21		
7				22		
8				23		
9				24		
10				25		
11				26		
12				27		
13				28		
14				29		
15				30		

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーベーシック (検定対策)	学年	2 年
担当教員	小川 いずみ・水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	30コマ
授業内容	検定対策				
授業目標	フットネイル全般の技術の取得、各検定試験の試験対策				
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	ジェルネイル技能検定中級試験対策	16			
2	ジェルネイル技能検定中級試験対策	17			
3	JNECネイリスト技能1級検定対策	18			
4	ジェルネイル技能検定上級試験対策	19			
5	ジェルネイル技能検定上級試験対策	20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度		科目名	ビューティーベーシック （フット）	学年	2 年
担当教員	柳澤 真理恵・水本 優美		学科	トータルビューティー科	時間数	27コマ
授業内容	フットネイルの技術の習得					
授業目標	フットネイル全般の技術の取得、各検定試験の試験対策					
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。					
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師					
授業計画及び学習の内容						
1	フットネイルケア	16				
2	フットネイルケア	17				
3	フットネイルケア	18				
4	フットジェルネイルの施術	19				
5	フットジェルネイルの施術	20				
6	フットジェルネイルの施術	21				
7		22				
8		23				
9		24				
10		25				
11		26				
12		27				
13		28				
14		29				
15		30				

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティービジネス (ボランティア)	学年	2 年
担当教員	水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	12コマ
授業内容	実際のサロンを模した形式での施術、接客、福祉施設等の利用者を対象とした施術、接客をし、実際のネイルサロンで働く事を想定し即戦力となる技術を学ぶ。 また、福祉施設等でのボランティアを通じ、社会貢献をし、人と関わることで得られる人間関係により、心をより豊かにする。				
授業目標	実践に基づく技術と接客を学ぶ。社会貢献の目的を理解し意義を学ぶ。				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実践に基づく形式での実習。 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	ボランティア	16			
2	ボランティア	17			
3	ボランティア	18			
4	ボランティア	19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度		科目名	ビューティービジネス (サロン)	学年	2 年
担当教員	小川 いずみ・水本 優美		学科	トータルビューティー科	時間数	111コマ
授業内容	実際のサロンを模した形式での作品作成、作品発表、ボランティア、スチューデントサロンでの施術をし、実際のネイルサロンで働く事を想定した即戦力となる技術と提案力を学ぶ。					
授業目標	実践に基づく技術と接客を学ぶ。社会貢献の目的を理解し意義を学ぶ。					
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）					
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師					
授業計画及び学習の内容						
1	デザイン作成	16	スチューデントサロン			
2	デザイン作成	17	スチューデントサロン			
3	デザイン作成	18	ボランティア練習			
4	デザイン作成	19	ボランティア練習			
5	デザイン作成	20				
6	デザイン作成	21				
7	作品発表	22				
8	作品発表	23				
9	作品発表	24				
10	作品発表	25				
11	作品発表	26				
12	作品発表	27				
13	プレオープン	28				
14	スチューデントサロン	29				
15	スチューデントサロン	30				

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーサイエンス (衛生管理)	学年	2 年
担当教員	小川 いずみ	学科	トータルビューティー科	時間数	6 コマ
授業内容	JNAテクニカルシステムに沿ってネイルに必要な衛生基準を理解し習得させる				
授業目標	ネイリストに必要な衛生管理基準に準じた衛生基準や法規を理解し衛生管理士資格の取得を目指す				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	ネイリスト衛生管理士マニュアル	16			
2		17			
3		18			
4		19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度		科目名	ビューティーサイエンス (2級)	学年	2 年
担当教員	高橋 絵美・小川 いずみ・水本 優美		学科	トータルビューティー科	時間数	33コマ
授業内容	JNAテクニカルシステムに沿ってネイル基礎理論・ネイル技術を学びネイリスト技能検定 2 級取得を目指す。					
授業目標	ネイリスト検定 2 級取得を目指す					
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。					
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師					
授業計画及び学習の内容						
1	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	16				
2	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	17				
3	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	18				
4	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	19				
5	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	20				
6	JNECネイリスト技能検定2級試験対策	21				
7		22				
8		23				
9		24				
10		25				
11		26				
12		27				
13		28				
14		29				
15		30				

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーサイエンス (エアブラシ)	学年	2 年
担当教員	柳澤 真理恵・水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	25コマ
授業内容	エアブラシの使用方法、テクニックを学びコンテストに特化したアート技術を取得、				
授業目標	コンテスト対策・エアブラシ技術の取得				
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	道具の取り扱いと基礎練習・台紙にアート完成	16			
2	グラデーション	17			
3	マスキング	18			
4	くるくるカッター・花・チェック柄	19			
5	5本組デザイン画作成	20			
6	最終作品作成	21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度		科目名	ビューティーサイエンス (コンペ)	学年	2 年
担当教員	小川 いずみ・水本 優美		学科	トータルビューティー科	時間数	48コマ
授業内容	エアープラシの使用方法、テクニックを学びコンテストに特化したアート技術を取得、					
授業目標	コンテスト対策・エアープラシ技術の取得					
成績評価方法	・出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）					
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師					
授業計画及び学習の内容						
1	コンテスト対策	16				
2	コンテスト対策	17				
3	コンテスト対策	18				
4	コンテスト対策	19				
5	コンテスト対策	20				
6	コンテスト対策	21				
7	コンテスト対策	22				
8	コンテスト対策	23				
9		24				
10		25				
11		26				
12		27				
13		28				
14		29				
15		30				

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度		科目名	ネイルアドバンス (リベア)	学年	2年
担当教員	小川 いずみ・水本 優美		学科	トータルビューティー科	時間数	54コマ
授業内容	ネイルをリベアする上で必要な技術を習得する					
授業目標	補修・補強・矯正技術の習得とサロンワークに必要な技術であるマシン技術を習得し使いこなせることを目的とする					
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。					
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 実践に基づく形式での授業。 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師					
授業計画及び学習の内容						
1	リベア	16				
2	リベア	17				
3	リベア	18				
4	リベア	19				
5	リベア	20				
6	リベア	21				
7	リベア	22				
8	リベア	23				
9	リベア	24				
10	リベア	25				
11	リベア	26				
12	リベア	27				
13	リベア	28				
14	リベア	29				
15	リベア	30				

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度		科目名	ネイルアドバンス (1級)	学年	2 年
担当教員	小川 いずみ・柳澤 真理恵・飯田 悟子・永本 優美		学科	トータルビューティー科	時間数	211コマ
授業内容	JNAテクニカルシステムに沿ってネイル基礎理論・ネイル技術を学びネイリスト技能検定1級取得を目指す。					
授業目標	ネイリスト技能検定1級取得					
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。					
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 実践に基づく形式での授業。 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師					
授業計画及び学習の内容						
1	1級検定対策授業		19	チップオーバーレイ		
2	1級検定対策授業		20	チップオーバーレイ		
3	1級検定対策授業		21	チップオーバーレイ		
4	1級検定対策授業		22	JNECネイリスト技能検定1級試験対策		
5	1級検定対策授業		23	JNECネイリスト技能検定1級試験対策		
6	1級検定対策授業		24	JNECネイリスト技能検定1級試験対策		
7	スカルプチュアネイル		25	JNECネイリスト技能検定1級試験対策		
8	スカルプチュアネイル		26	JNECネイリスト技能検定1級試験対策		
9	スカルプチュアネイル		27	JNECネイリスト技能検定1級試験対策		
10	スカルプチュアネイル		28	JNECネイリスト技能検定1級試験対策		
11	スカルプチュアネイル		29	JNECネイリスト技能検定1級試験対策		
12	スカルプチュアネイル		30	JNECネイリスト技能検定1級試験対策		
13	チップオーバーレイ		31	JNECネイリスト技能検定1級試験対策		
14	チップオーバーレイ		32	JNECネイリスト技能検定1級試験対策		
15	チップオーバーレイ		33	JNECネイリスト技能検定1級試験対策		
16	チップオーバーレイ		34	JNECネイリスト技能検定1級試験対策		
17	チップオーバーレイ		35	JNECネイリスト技能検定1級試験対策		
18	チップオーバーレイ		36	JNECネイリスト技能検定1級試験対策		

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ネイルテクニカル (ジェル上級)	学年	2 年
担当教員	小川 いずみ・柳澤 真理恵・水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	65コマ
授業内容	JNAテクニカルシステム〜ジェルネイル〜に沿ってジェルネイル基礎理論・ジェルネイル技術を学びジェルネイル技能検定中級、上級取得を目指す。				
授業目標	ジェルネイル技能検定上級取得				
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	ジェルネイル基礎理論	16			
2	ジェルネイルエクステンション技術	17			
3	ジェルオフ技術	18			
4	ジェルアート技術	19			
5	ジェルクリアスカルプチュア	20			
6	ジェルチップオーバーレイ	21			
7	ジェルクリアスカルプチュア	22			
8	ジェルネイル技能検定試験対策	23			
9	ジェルネイル技能検定試験対策	24			
10	ジェルネイル技能検定試験対策	25			
11	ジェルネイル技能検定試験対策	26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ネイルテクニカル (ジェル中級)	学年	2 年
担当教員	小川 いずみ・柳澤 真理恵・飯田 悟子・水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	76コマ
授業内容	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～に沿ってジェルネイル基礎理論・ジェルネイル技術を学びジェルネイル技能検定中級、上級取得を目指す。				
授業目標	ジェルネイル技能検定中級、上級取得				
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	ジェルネイル基礎理論	16			
2	ジェルネイルグラデーション	17			
3	ジェルフレンチ	18			
4	ジェルネイルイクステンション技術	19			
5	ジェルオフ技術	20			
6	ジェルネイル技能検定試験対策	21			
7	ジェルネイル技能検定試験対策	22			
8	ジェルネイル技能検定試験対策	23			
9	ジェルネイル技能検定試験対策	24			
10	ジェルネイル技能検定試験対策	25			
11	ジェルネイル技能検定試験対策	26			
12	ジェルネイル技能検定試験対策	27			
13	ジェルネイル技能検定試験対策	28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ネイルテクニカル (試験対策)	学年	2 年
担当教員	水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	40コマ
授業内容	JNAテクニカルシステム〜ジェルネイル〜に沿ってジェルネイル基礎理論・ジェルネイル技術を学びジェルネイル技能検定中級、上級取得を目指す。				
授業目標	ジェルネイル技能検定中級、上級取得、JNECネイリスト技能検定1級筆記対策、後期実技試験対策、校内コンテスト対策				
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、永年の経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。ネイリスト協会認定講師				
授業計画及び学習の内容					
1	ジェルネイル基礎理論	16			
2	ジェル技能検定試験対策	17			
3	JNECネイリスト 技能検定1級筆記対策	18			
4	後期実技試験対策	19			
5	後期実技試験対策	20			
6	後期実技試験対策	21			
7	後期実技試験対策	22			
8	後期実技試験対策	23			
9	校内コンテスト対策	24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーリレーション	学年	2年
担当教員	水本 優美	学科	トータルビューティー科	時間数	174コマ
授業内容	個々の能力や才能に応じた知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、それを通じて人格を形成し、社会に貢献できる人材育成をすることで生涯にわたって成長の機会を提供する。				
授業目標	学校や社会のルールの必要性を考え、適時対応できる能力と身につける。 職場から求められる美容のプロとなる為の経験と教養を養う。 自主性や協調性を身につけ社会に適応する能力を養う。				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び校外実習				
授業計画及び学習の内容					
1	始業式	16	学園祭準備		
2	オリエンテーション	17	学園祭準備		
3	健康診断	18	後期実技試験		
4	校外実習	19	後期筆記試験		
5	校外実習	20	TAT講習		
6	校外実習	21	ジェルネイル技能検定中級		
7	前期実技試験	22	ジェルネイル技能検定上級		
8	前期筆記試験	23	学生アンケート		
9	校内コンテスト	24	大掃除		
10	セミナー	25	大掃除		
11	JNECネイリスト技能検定2級	26	卒業式		
12	学園祭準備	27	大掃除		
13	学園祭準備	28	大掃除		
14	学園祭準備	29	卒業式		
15	学園祭準備	30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	化粧品化学	学年	1 年
担当教員	黒澤正樹	学科	美容科	時間数	30コマ

授業内容	国家試験の問題を分析すると、深い理解を問う問題よりも、幅広い知識（特にその単元ごとにおける語句の理解）を問う問題が増えている傾向がみられる。 よって、各単元を深く掘り下げることも、国家試験に頻出される重要語句を繰り返し学習させ、明確に記憶できるようにさせる。 また、授業後の小テストを積み重ねることにより、前向きに学習に取り組むという意識の向上に繋げるようにする。
授業目標	化粧品等に関する化学的知識を通して、美容を適切に行う能力と態度を育てることをねらいとし、化粧品や化学の基本的原理や応用について習得させる。国家試験の問題を分析しながら、それぞれの単元で重要な語句をしっかりと学習させ、明確に記憶できるように心がけながら、生徒たちが自信をもって取り組めるように指導する。最終的に国家試験に全員合格できるような知識を確実にしながら、社会に出てその化学的な思考の礎にできるようにする。
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 授業に関しては、教科書の内容に沿った穴埋め式のまとめプリントなどを使いながら理解を深めさせ、単元ごとに小テストなどを実施して理解度を確認する。 講師紹介：高校受験・大学受験の塾や予備校において、40年にわたり化学や物理（教科書内容から受験レベルまで）の指導をしているベテラン講師。

授業計画及び学習の内容			
1	化粧品概論① 化粧品の社会的意義と必要条件（教科書P9～24）	19	スキンケア製品②教科書P106～P115コンディショニング化粧水やクリーム乳液の種類と性質
2	化粧品概論②化粧品の使用による症状および医薬部外品の種類と注意（P9～P24）	20	スキンケア製品③教科書P106～P115前回到続いて、クリームや乳液を確認19・20回の確認テスト
3	化粧品の定義と法規制 医薬品医療機器等法における化粧品の定義 化粧品の販売規制と化粧品配合禁止成分など（P25～P45）	21	総復習3教科書P9～P1151回から20回までの総復習(重要語句チェック・4択演習)
4	水と親水性溶媒①物質と溶媒、有機化合物・無機化合物 アルコールの種類と特徴のまとめ（P47～P50）	22	スキンケア製品④教科書P116～P122サンケア製品「（サンスクリーン製品とサンタン製火品）の違いその他UVAとUVBの違いなどの整理をさせる。
5	水と親水性溶媒②教科書P47～P50（前回からの続き） アルコールの復習と保湿剤・水素イオン指数（pH）4・5回の確認テスト	23	スキンケア製品⑤教科書P123～P128美白用化粧品・打粉類・パック剤などの種類と性質をまとめる
6	油性原料 教科書P51～P58 油性原料（油脂、ロウ、炭化水素、高級脂肪酸、高級アルコール 脂肪酸エステル、シリコン油など）	24	化粧品総合復習1教科書P9～P128前回までの内容の総復習(重要語句のチェック)及び穴埋め問題4択問題や○×問題演習しながら確認させる。
7	界面活性剤 教科書P59～P66界面活性剤の種類と性質をまとめる 確認テスト	25	冬休み暗記まとめ2月の後期学科試験を目標に、ここまで学習してきた範囲において重要語句をしっかりと整理して、それぞれ必ず復習チェックさせる
8	総復習1教科書P9～P661回から8回までの総復習（重要語句チェック）	26	冬休み明け暗記テスト重要語句復習冬休み明け暗記テストを実施して、60点以下の生徒には再テストを実施。後期学科試験に向けて、しっかりと復習できるようにする。
9	高分子化合物と色材教科書P67～P75高分子化合物（天然・半合成・合成）色材（無機顔料・タル色素など）	27	後期学科試験対策1後期学科試験対策として重要事項の総まとめをして、それぞれ確実に暗記させていく。
10	天然色素と配合成分教科書P76～95(緩衝液などの化学範囲を除く) 配合成分（防腐剤・紫外線吸収剤・酸化防止剤など）をまとめる。重要語句を中心にしっかりと暗記させる。	28	後期学科試験対策2後期学科試験対策として、前回到配布した重要事項の確認とより確実に試験に合格できるように学習させる。
11	前期総合1～10回までに学習した内容をもう一度整理し直す。重要語句のまとめと4択問題などの演習	29	後期学科試験対策3後期学科試験対策のまとめと範囲の○×問題演習をさせてより確実に試験に合格できるように学習させる。
12	前期重要事項暗記まとめ前期試験に向けて、重要事項の暗記のまとめをさせる。初めての学科試験について、勉強の方法やポイントの整理をしながら、しっかりと復習させる。	30	後期 学科試験解説及び総合問題後期学科試験の解答と解説をする。間違えた問題に関しては、なぜその選択肢が誤りなのかということをしかり確認させ、より確実な理解をさせる。
13	前期学科試験対策1前期学科試験対策として、前回到配布した重要事項の確認と4択問題演習をさせて確実に理解できるようにさせる。		
14	前期学科試験対策2前期学科試験対策のまとめと範囲の○×問題演習をさせてより確実に試験に合格できるように学習させる。		
15	前期学科試験の解答と解説をする。間違えた問題に関しては、なぜその選択肢が誤りなのかということをしかり確認させ、より確実な理解をさせる。		
16	化学範囲補充教科書P5,P62,P83～P85、P93化学範囲（水素イオン指数、コロイド、合成樹脂、緩衝作用など）		
17	総復習2教科書P9～P951回から16回までの総復習(重要語句チェック・4択演習)		
18	スキンケア製品①教科書P98～P105クレンジング化粧品（クレンジング化粧水、クレンジングオイル石けん、ボディーションなど）の性質とはたらきをまとめる		

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	衛生管理 (管理技術)	学年	1 年
担当教員	山本江理子	学科	美容科	時間数	30コマ

授業内容	理容業・美容業が不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務するため、特に消毒法は、理容・美容業務の衛生を保持するうえで最も重要な技術です。衛生管理の意義を十分理解し、適正な消毒方法を学習します。
授業目標	理容業・美容業が不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務するため、消毒法は、理容・美容業務の衛生を保持するうえで重要な技術であることを理解する。衛生管理の意義を十分理解し、適正な消毒方法を理解する。
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 テキストとプリントを使用して授業を行う。

授業計画及び学習の内容			
1	消毒法総論 消毒とは 授業の進め方、授業の概要病原微生物と非病原微生物消毒の原理	16	消毒法実習 各種消毒薬 消毒薬の概要 器具の使い方
2	消毒の意義 汚染、感染、発病と消毒の意義 /殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義消毒に関連のある法の規定 消毒を怠った場合の危険性と理容師・美容師の責任	17	消毒薬希釈法 計算問題 1
3	消毒の意義 汚染、感染、発病と消毒の意義 /殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義消毒に関連のある法の規定 消毒を怠った場合の危険性と理容師・美容師の責任	18	消毒薬希釈法 計算問題 2
4	消毒の意義 汚染、感染、発病と消毒の意義 /殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義消毒に関連のある法の規定 消毒を怠った場合の危険性と理容師・美容師の責任	19	消毒薬希釈法 計算問題 3
5	消毒法と適用上の注意 消毒法の種類、消毒（殺菌）に必要な条件 病原微生物の抵抗力 消毒薬・消毒薬使用液の使用、保存上の注意点	20	消毒薬希釈法 計算問題 4
6	消毒法と適用上の注意 消毒法の種類、消毒（殺菌）に必要な条件 病原微生物の抵抗力 消毒薬・消毒薬使用液の使用、保存上の注意点	21	理容所・美容所の消毒の実際 理容所・美容所における消毒の原則 理容所・美容所の設備 理容・美容器具類の消毒法（一覧表の作成）
7	消毒法各論 理学的消毒法 紫外線消毒、煮沸消毒蒸気消毒その他の理学的消毒	22	理容所・美容所の消毒の実際 理容・美容器具類の消毒法（完成）
8	消毒法各論 理学的消毒法 紫外線消毒、煮沸消毒蒸気消毒その他の理学的消毒	23	理容所・美容所の消毒の実際 理容・美容器具類の消毒法（完成）
9	化学的消毒 法日本薬局方アルコール類による消毒	24	理容所・美容所の消毒の実際 理容師・美容師の手指の消毒その他のものの消毒理容所・美容所の消毒の現状
10	化学的消毒法 次亜塩素酸ナトリウム（塩素剤）による消毒界面活性剤（逆性石けん、両性界面活性剤）による消毒	25	理容所・美容所の清潔法の実際 清潔保持と清掃、洗浄による清浄法 洗い場の構造と清潔保持 清掃、刈り取った毛の処理、ふたつき汚物箱などの消毒
11	化学的消毒法 次亜塩素酸ナトリウム（塩素剤）による消毒界面活性剤（逆性石けん、両性界面活性剤）による消毒	26	理容所及び美容所における衛生管理要領 理・美容所の自主管理点検表 衛生的取り扱い等 自主的管理体制
12	すぐれた消毒法とその実施上の注意点 すぐれた消毒の条件消毒を行う際の注意事項	27	理容所及び美容所における衛生管理要領 理・美容所の自主管理点検表 衛生的取り扱い等 自主的管理体制
13	消毒法のまとめ 消毒法のまとめ（一覧表の作成）	28	消毒薬希釈法 計算問題 5 計算問題 6
14	消毒法のまとめ 消毒法のまとめ（一覧表の作成）	29	後期試験対策
15	前期試験の解答解説 前期試験の解答解説	30	後期試験の解答解説

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	衛生管理 (感染症)	学年	1年
担当教員	石井 秀美	学科	美容科	時間数	30コマ

授業内容	1. 感染症発見の歴史 2. 感染症の法律による分類・感染経路別分類・病原体の種類別分類 3. 微生物の種類・構造・増殖の様式・環境の影響 4. 微生物の病原性・感染の様式 5. 常在細菌叢 6. 免疫と予防接種 7. 感染症発生の要因と予防の三原則 8. 空気・飛沫を介する感染症 9. 飲食物を介する感染症 10. 血液を介する感染症 11. 動物脚足動物を介する感染症 12. 感染症の具体的な対策 (標準予防策、咳のある客への対応、病変の皮膚をもつ客への対応、嘔吐をした客への対応)
授業目標	美容所は、不特定多数の人達が利用する施設のため、客や従業員を通じて感染症を伝播する危険性がある。そのため、美容師免許証を取得しようとする者は、衛生上の危害を防止する知識を持つことが重要である。そこで、感染症の基礎知識として、感染経路、病原体の種類、感染症発生の要因、予防接種の効果、感染症の予防対策、更には呼吸器系感染症経口感染症、血液を介する感染症などの各論を理解させる。
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 授業の方法： 1. 教科書として 日本理容美容教育センター発行「衛生管理」 第三編「感染症」を使用 2. 授業まとめプリント、国試合格のための覚えろ集プリントを使用 3. 練習問題の実施と解説

授業計画及び学習の内容				
1	1. 人と感染症 1) 疾病の歴史 2) 感染症発見の歴史 ①ハンセン病 ②痘そう (天然痘) ③ペスト (黒死病) などバズール、コッホ、ジェンナー、フレミングの業績を中心に感染症研究の歴史を講義する	19	⑦新型インフルエンザ⑧新型インフルエンザ等感染症の定義、新型インフルエンザの考え方を理解させる	
2	1. 人と感染症 1) 疾病の歴史 2) 感染症発見の歴史 ①ハンセン病 ②痘そう (天然痘) ③ペスト (黒死病) などバズール、コッホ、ジェンナー、フレミングの業績を中心に感染症研究の歴史を講義する	20	⑧麻しん麻しん、百日せき、風しんの病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる	
3	3) 感染症の分類 ①感染症法による分類 感染症法による1～5類、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症、新感染症の分類意義を理解させる	21	⑨百日せき風しんの病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる	
4	②) 感染経路別分類③病原体別分類感染症の病原体侵入門戸別分類とその意義を理解させる病原体別による感染症分類とその意義を理解させる	22	2) 経口感染症①細菌性赤痢②腸管出血性大腸菌細菌性赤痢の病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる。腸管出血性大腸菌感染症の病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる	
5	②) 感染経路別分類③病原体別分類感染症の病原体侵入門戸別分類とその意義を理解させる病原体別による感染症分類とその意義を理解させる	23	③A型肝炎③) 血液を介する感染症①B型肝炎ウイルス性肝炎の分類を理解させ、A型、B型肝炎の病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる	
6	2. 病原微生物 1) 微生物の種類と形 病原体の種類 (細菌、リケッチア、クラミジア、ウイルス) を理解させる	24	②C型肝炎③AIDS④梅毒C型肝炎、後天性免疫不全症候群(AIDS)、梅毒の病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる	
7	2) 微生物の構造 微生物の発育・増殖する条件及び増殖の仕方を理解させる	25	②C型肝炎③AIDS④梅毒C型肝炎、後天性免疫不全症候群(AIDS)、梅毒の病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる	
8	3) 微生物の増殖と環境の影響 細菌、リケッチア、クラミジア、ウイルスの構造と大きさを理解させる	26	4) 動物を介する感染症①ラッサ熱②デング熱③ペスト④マラリアラッサ熱、ペスト、デング熱、マラリアの病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる	
9	3. 感染症の予防 1) 微生物の病原性 2) 汚染・感染・発病微生物の病原性と宿主の関係、感染様式を理解させる	27	5. 具体的な感染症対策美容所における具体的な感染症予防対策として、咳をする客、痰を出す客、嘔吐した客への対応などを理解させる	
10	3) 常在細菌叢 4) 免疫と予防接種常在細菌叢と日和見感染の関係を理解させる。免疫の概念を理解させる。 予防接種及びワクチンの種類、定期予防接種に指定されている感染症を理解させる	28	5. 具体的な感染症対策美容所における具体的な感染症予防対策として、咳をする客、痰を出す客、嘔吐した客への対応などを理解させる	
11	5) 感染症発症の要因 感染症発症の三大要因、感染源、感染経路、宿主の感受性を理解させる	29	後期試験対策練習問題 1 過去の国家試験問題を解かせ解説	
12	6) 感染症予防の3原則 感染症予防の3原則を理解させる	30	後期試験の解説後期試験の正解と解説	
13	前期試験対策練習問題 1 過去の国試問題を解かせ、解説する			
14	前期試験対策練習問題 2 過去の本学前期試験を解かせ、解説する			
15	前期試験解説			
16	4. 主な感染症 1) 空気・飛沫感染症①結核結核の病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる			
17	②ジフテリア③SARSとMERS ④新型コロナ感染症ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARS)、中東呼吸器症候群 (MERS)、新型コロナウィルス感染症の病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる			
18	⑤鳥インフルエンザ⑥インフルエンザ⑦鳥インフルエンザの病原体・感染経路・症状・予防法を理解させるインフルエンザの病原体・感染経路・症状・予防法を理解させる。			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	保健 (皮膚)	学年	1年
担当教員	大久保 幸美	学科	美容科	時間数	45コマ

授業内容	皮膚というものの範囲から、皮膚及び皮膚付属器官の構造、生理、保健、病変を学んでいく。
授業目標	皮膚および皮膚付属器官について・・・① 基本的構造・機能・役割について詳しく学習する② 生理機能について知り、それらが果たす生体防御の仕組みを学ぶ。
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 日本理容美容教育センターテキスト「保健」担当講師作成資料（各回 A4 1枚）

授業計画及び学習の内容				
1	第1章 皮膚の構造 皮膚の表面シラバスに沿って効果的な授業を展開するために、今年度の授業の進め方について説明する。皮膚の基本構造を学ぶ。	24	前期試験対策 4 択問題 1章～4章の範囲での学びを5択形式で出題。前期試験への対策及び、自身の弱点について知る。間違えた箇所は復習し、知識を確実なものにする。	
2	第1章 皮膚の構造 皮膚の断面/表皮皮膚の断面：表皮・真皮・皮下組織表皮に存在する色素細胞やランゲルハンス細胞など角質層・顆粒層・有棘層・基底層について学習する。	25	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健 ①皮膚には、全身状態や精神状態、栄養などが様々な形で影響を与えるということを知る。嗜好品が皮膚に与える影響について学ぶ。	
3	第1章 皮膚の構造 表皮と真皮の境/真皮表皮と真皮の重なり合い真皮の構造及びそのに存在する線維や細胞などについて学び、それらが果たす役割を知る。	26	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健 ②皮膚を体内病変にいて詳しく学習する。「肝臓と皮膚」「腎臓と皮膚」「胃腸と皮膚」「糖尿病と皮膚」	
4	第1章 皮膚の構造皮下組織 皮膚の部位差皮下組織が担う役割について学ぶ。皮膚は体の部位によって、それぞれ特性・特徴があることを学習する。	27	第5章皮膚と皮膚付属器官の保健 ③「皮膚の水分量と脂の状態」「しみ」「しわ」「たるみ」「乾皮」「手荒れ」「口唇あれ」「脂性肌」「敏感肌」について学習する。	
5	第1章 学習範囲 2 択問題 1章の範囲での学びを2択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。	28	第5章皮膚と皮膚付属器官の保健 ④「皮膚・皮膚付属器官とホルモンの関係」については特に男性ホルモンが皮膚や毛に与える影響を重点的に学ぶ。皮膚の手入れや保護について学習する。	
6	第1章 学習範囲 4 択問題 1章の範囲での学びを4択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしてい。 4 択問題に慣れる。	29	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健 ⑤紫外線が皮膚に与える影響について学習する。皮膚表面のpH・硬い皮膚のケア・毛の保護と手入れ爪の保護と手入れ・子どもの皮膚について学ぶ。	
7	第1章 学習範囲 4 択問題 1章の範囲での学びを4択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。 5 択問題に慣れる。	30	第5章 学習範囲 2 択問題 5章の範囲での学びを2択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく	
8	第2章 皮膚付属器官の構造 毛の構造 毛の基本構造を学ぶ。部位の名称、役割、機能について学習する。特に毛母、メラニンなどについては重点的に学習する。	31	第5章 学習範囲 4 択問題 5章の範囲での学びを4択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。 4 択問題に慣れる。	
9	第2章 皮膚付属器官の構造 毛の構造～毛の型の変化 毛の基本構造を学ぶ。毛は胎生毛・軟毛・硬毛と変化する。体の部位によってそれぞれの長さが異なることを学ぶ。	32	第5章 学習範囲 4 択問題 5章の範囲での学びを4択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。 4 択問題に慣れる。	
10	第2章 皮膚付属器官の構造 毛の成長～立毛筋 毛の成長周期・立毛筋について学習する。毛には成長期・退行期・休止期があること、また、成長周期は体の部位によってそれぞれの長さが異なることを学ぶ。	33	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 ①皮膚疾患における基本的用語の整理 発疹とは何か？発赤とは何か？など皮膚疾患に関する用語をしっかりと学んでいく。	
11	第2章 皮膚付属器官の構造 脂腺・汗腺・爪 脂腺の構造や存在する部位について学習する。汗腺の種類や機能、存在する部位について学習する。爪の構造、部位名称、役割について学習する。	34	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 ②湿疹・接触皮膚炎（かぶれ）について詳しく学ぶ。美容師業とかぶれの関係などもしっかりと学習する。パッチテストについて知る。	
12	第2章 学習範囲 2 択問題 2章の範囲での学びを2択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。	35	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 ③接触皮膚炎（かぶれ）の種類と対処方法について学習する。日光皮膚炎・脂漏性皮膚炎などについて学ぶ。	
13	第2章 学習範囲 4 択問題 2章の範囲での学びを4択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。 4 択問題に慣れる。	36	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 ④蕁麻疹・薬疹・熱傷・タコ・ウオノメ・色素異常による皮膚疾患 進行性指掌角皮症・尋常性痤瘡など様々な皮膚疾患について学習し、理解を深める。	
14	第2章 学習範囲 4 択問題 2章の範囲での学びを4択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。 5 択問題に慣れる。	37	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 ⑤皮膚の感染性疾患には何かがあるのか？を整理する。「化膿菌」「真菌」「ウイルス」「衛生害虫」などが引き起こす感染性疾患について学ぶ。	
15	第3章 皮膚の循環器系と神経系 皮膚に存在する血管や神経の構造について学ぶ。皮膚に存在するリンパ管の構造について知る。	38	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 ⑥皮膚の感染性疾患には何かがあるのか？を整理する。「化膿菌」「真菌」「ウイルス」「衛生害虫」などが引き起こす感染性疾患について学ぶ。	
16	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 ①皮膚の対外保護作用について学ぶ。皮膚はどういった仕組みで外的刺激から人体を守るのかを知る。皮膚の体温調節作用の仕組みについて学ぶ。	39	第6章 学習範囲 2 択問題 6章の範囲での学びを2択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく	
17	第4章皮膚と皮膚付属器官の生理機能 ②皮膚が持つ知覚作用（触覚・温覚・冷覚・痛覚）について学ぶ。皮膚の分泌（皮脂・汗）について学習し、皮脂や汗が分泌されることで、人体にどのような作用が与えられるのかを学ぶ。	40	第6章 学習範囲 4 択問題 6章の範囲での学びを4択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。 4 択問題に慣れる。	
18	第4章皮膚と皮膚付属器官の生理機能 ③皮膚が持つ、吸収作用・貯蔵作用・免疫解毒排除作用について詳しく学ぶ。毛の働き、爪の働きについて学習する。	41	第6章 学習範囲 4 択問題 6章の範囲での学びを4択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。 4 択問題に慣れる。	
19	第4章 学習範囲 2 択問題 4章の範囲での学びを2択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。	42	期末試験対策 4 択問題 1章～6章の範囲での学びを4択形式で出題。後期試験への対策及び、自身の弱点について知る。間違えた箇所は復習し、知識を確実なものにする。	
20	第4章 学習範囲 4 択問題 4章の範囲での学びを4択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。 4 択問題に慣れる。	43	期末試験対策 4 択問題 1章～6章の範囲での学びを4択形式で出題。後期試験への対策及び、自身の弱点について知る。間違えた箇所は復習し、知識を確実なものにする。	
21	第4章 学習範囲 4 択問題 4章の範囲での学びを4択形式で出題。学生たちの理解度を知る。間違えた箇所等をしっかり解説し理解を確実なものにしていく。 5 択問題に慣れる。	44	期末試験対策 4 択問題 1章～6章の範囲での学びを4択形式で出題。後期試験への対策及び、自身の弱点について知る。間違えた箇所は復習し、知識を確実なものにする。	
22	前期試験対策 4 択問題 1章～4章の範囲での学びを4択形式で出題。前期試験への対策及び、自身の弱点について知る。間違えた箇所は復習し、知識を確実なものにする。	45	皮膚科学 まとめ1年間総括 及び国家試験対策で使用できる資料提供。	
23	前期試験対策 4 択問題 1章～4章の範囲での学びを5択形式で出題。前期試験への対策及び、自身の弱点について知る。間違えた箇所は復習し、知識を確実なものにする。			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	文化論	学年	1 年
担当教員	檀刈 真実	学科	美容科	時間数	30コマ

授業内容	文化史の中の理容・美容／理容業・美容業の歴史／日本ファッション文化史
授業目標	①日本における理容業、美容業の歴史、ファッションの成り立ちを知識としてしっかり学び、問題を解くことで、国家試験のための実践力を身につける。②日本のマナーや風習をファッションから学び、社会に出た時の即座の実践力とし、また、創造的な創作活動への基盤としてファッションの歴史を活用できるようにする。
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 講義形式、プリント配布。授業内ミニテストあり。国家試験をクリアすることはもちろんのこと、日本において美容業に携わる一社会人として、日本のファッションの歴史やマナーの知識を身につけていきましょう。パワーポイントや写真（プロジェクター使用）をフルに活用しインパクトに視覚的に印象付ける授業を心がけています。

授業計画及び学習の内容				
1	第1章 総論 理容・美容の語義と社会	19	第3章 ファッション文化史	大正時代
2	第2章 日本の理容業・美容業の歴史 髪結床の誕生～美容師になるまで	20	〃	昭和時代（戦前）
3	第2章 髪結床の誕生～美容師になるまで	21	〃	昭和時代（戦後）
4	第2章 髪結床の誕生～美容師になるまで	22	〃	1960年代
5	第3章 ファッション文化史 縄文、弥生、古墳時代	23	〃	1970年代
6	〃 飛鳥奈良時代	24	〃	1980年代
7	〃 平安時代	25	〃	1990年代～
8	〃 鎌倉、室町時代	26	〃	2000年代～
9	〃 安土桃山時代	27	ファッションブランド史まとめ	（日本）★後期試験のための小テスト
10	〃 江戸時代（男性の髪型）	28	ファッションブランド史まとめ	（海外）★後期試験のための小テスト
11	〃 江戸時代（女性の髪型）	29	明治時代～現代までの試験範囲の復習をする。★試験対策プリント	
12	〃 江戸時代（化粧）	30	試験後、答え合わせと一年間の振り返り	
13	〃 江戸時代（着物）			
14	総論～歴史（縄文～江戸時代）の試験範囲の復習をする。★試験対策プリント			
15	20間の問題をひとつずつ解説			
16	第3章 ファッション文化史 明治時代			
17	第3章 ファッション文化史 明治時代			
18	第3章 ファッション文化史 明治時代			

2025年度シラバス					
開講年度	2025年度		科目名	美容技術理論	学年
担当教員	渡部知子・磯部文二・林成康・中村仁美		学科	美容科	1年
授業内容	目標にはその裏付けとなる理論が必要である。 理論も理解することで、技術が定まってくることを理解する。				
授業目標	美容師資格を取得するための基礎から学び理解する				
成績評価方法	成績評価は40点以上合格かつ指定の出題率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は各試験と同一。				
授業の方法 及び 評価方法	【特徴】 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	授業の流れ、アンダーラインの引き方・ノートの取り方・理論：技術について	46	ヘアケアマイスター		
2	安定した姿勢・作業点と姿勢・力の配分	47	歴史・理論・パーマ剤の分類		
3	人体各部名称・頭部区分・ヘアライン・髪型ポイント	48	ヘアケアマイスター		
4	道具の重要性・取り扱い方・コームの名称・測定法・手入れ法	49	パーマ剤の分類・注意事項		
5	ブラシの種類・測定法・手入れ法・道具名称	50	毛髪検査装置・シャンプー剤・測定・ブローキング		
6	レザー・ピン・ロッド・ローラー	51	プレ処理・ワイディング・1階層布 調整タイム・テストタイム・2階（染毛剤・硬化化水素）		
7	ヘアアイロン・ヘアドライヤー・ヘアスプレー・通気乾燥機	52	アフターリンス・ワンディングバリエーション・結毛矯正		
8	まとめ	53	まとめ		
9	まとめ	54	まとめ		
10	シャンプーの目的・メカニズム・シャンプー剤・種類	55	ヘアキャッチング・ヘアパーディング・シェービング・カールの各目的と効果		
11	シャンプーの目的・メカニズム・シャンプー剤・種類	56	ストランドカール・シェービングカール フットカール・スタンダードカール		
12	リンス/コンディショナー/トリートメントの違い	57	フーワード・リバーズ・Cカール・CCカール		
13	リンス/コンディショナー/トリートメントの成分・種類について	58	ベースの種類・システムの方向と角度・ポジション		
14	スカルプトリートメント目的・要素・種類・「毛毛測定法」はたらき	59	ムーブの向き・カールビギン		
15	スカルプブローサー/乾燥機の目的・要素・基本手順・ヘッドスバ	60	ヘアウェーピング・カールウェーブ		
16	まとめ	61	スキャップウェーブ・ターンシステム・オールウェーブ環境・ローラーウェーブ		
17	まとめ	62	ローラーカーリング・ブロードライ		
18	美容とデザイン	63	アイロンセッティング・バックコーミング・ウィッグとヘアベース		
19	デザインの要素	64	まとめ		
20	髪・デザインの要素	65	まとめ		
21	方向・比較	66	ヘアカラーリング環境・ヘアカラーの種類・ヘアカラーのタイプ別特徴		
22	シメトリ・バランス・顔顔と対応・リズム	67	ヘアカラーのタイプ別特徴・染毛のメカニズム・色の基本		
23	まとめ	68	毛髪検査装置とアンダーコート・パッチテスト		
24	まとめ	69	染毛剤使用時の注意事項・ヘアカラーリングの道具・脱色染毛剤の使用手順		
25	1章から3章まとめ	70	脱色染毛剤の使用手順・ヘアブリーチ		
26	ヘアキャッチング・レザーズとレザーの扱い方・美容用語・正しい姿勢	71	まとめ		
27	ブローキング・ヘアキャッチングの基礎知識・パールの角度	72	まとめ		
28	ベシットなカット技法	73	練習		
29	レザーズによるカット技法	74	練習		
30	レザーズによるカット技法	75	練習		
31	レザーによるカット技法	76	練習		
32	まとめ	77	練習		
33	まとめ	78	練習		
34	練習	79	練習		
35	練習	80	練習		
36	練習	81	練習		
37	試験問題解説	82	練習		
38	ヘアケアマイスター	83	練習		
39	ヘアケアマイスター	84	練習		
40	ヘアケアマイスター	85	練習		
41	ヘアケアマイスター	86	練習		
42	ヘアケアマイスター	87	練習		
43	ヘアケアマイスター	88	練習		
44	ヘアケアマイスター	89	練習		
45	ヘアケアマイスター	90	試験問題解説		

2025年度シラバス					
開講年度	2025年度	科目名	美容実習 (パーマ・ウェーブ・カール・アレンジ)	学年	1 年
担当教員	海野裕子 ・ 磯部文二 ・ 林成美 ・ 中村仁美	学科	美容科	時間数	164コマ
授業内容	美容の業務を安全かつ効率的に実施する技術を得得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を得得させる。 美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。				
授業目標	国家試験課題の構成を理解する 基礎を学ぶ				
成績評価方法	成績評価は実技70点以上・衛生80点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合、単位を認める。 実技69点以下・衛生79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。				

授業計画及び学習の内容			
1	コームの持ち方・動き、手の動き・ローション塗布・6 線 7 段構成	26	ウェーブ幅確認・左右収まり確認
2	半円（ハーフウェーブ）	27	クロキノールカール・作り方・収まり確認
3	リッジ	28	クロキノールカール・作り方・収まり確認
4	フルウェーブ・フェイスライン	29	リフトカール、メイボールカール
5	構成理解・ウェーブ幅、立ち位置確認	30	リフトカール、メイボールカール
6	構成理解・ウェーブ幅、立ち位置確認	31	リフトカール、メイボールカール
7	カールの大きさ、収まり理解	32	リフトカール、メイボールカール
8	構成理解・2～3 段目髪がリウェーブ幅	33	リフトカール、メイボールカール
9	構成理解・くり抜き幅・耳上処理	34	リフトカール、メイボールカール
10	スカルプチュアとウェーブの繋がリ	35	7段構成の理解
11	スカルプチュアとウェーブの繋がリ	36	7 段構成の理解
12	ウェーブとスカルプチュアの繋がリ・構成	37	7 段構成の理解
13	ウェーブとスカルプチュアの繋がリ・構成	38	7 段構成の理解
14	ウェーブとスカルプチュアの繋がリ・構成	39	衛生練習
15	ウェーブとスカルプチュアの繋がリ・構成	40	衛生練習
16	ウェーブとスカルプチュアの繋がリ・構成	41	衛生練習
17	ウェーブとスカルプチュアの繋がリ・構成	42	模擬試験
18	ウェーブとスカルプチュアの繋がリ・構成	43	全体タイムどり
19	ウェーブとスカルプチュアの繋がリ・構成	44	全体タイムどり
20	ウェーブとスカルプチュアの繋がリ・構成	45	全体タイムどり
21	ウェーブとスカルプチュアの繋がリ・構成	46	全体タイムどり
22	ウェーブとスカルプチュアの繋がリ・構成	47	カール練習
23	ウェーブ幅確認・左右収まり確認	48	カール練習
24	ウェーブ幅確認・左右収まり確認	49	全体タイムどり
25	ウェーブ幅確認・左右収まり確認	50	試験

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	美容実習 (ワインディング)	学年	1年
担当教員	海野知子・磯部丈二・林成美・中村仁美	学科	美容科	時間数	195コマ
授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を得得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を得得させる。 美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の客の要望に応じた美容技術を実践に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。				
授業目標	国家試験課題の構成を理解する 基礎を学ぶ				
成績評価方法	成績評価は実技70点以上・衛生80点以上合格かつ指定の出座率を上回った場合、単位を認める。 実技69点以下・衛生79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。				

授業計画及び学習の内容			
1	道具の扱い・準備の仕方	28	全項
2	センターブロッキング	29	全項
3	センター（上巻,下巻）	30	全項（実技試験）
4	センター（上巻,下巻）	31	ブロッキング練習
5	センター（上巻,下巻）	32	ブロッキング練習
6	センター（上巻,下巻）	33	ブロッキング練習
7	センター（上巻,下巻）	34	ブロッキング練習
8	センター（上巻,下巻）	35	センター（上巻,下巻タイムアップ）
9	センター（上巻,下巻）	36	センター（上巻,下巻タイムアップ）
10	レベルチェック	37	センター（上巻,下巻タイムアップ）
11	ブロック（フロント～サイド）	38	センター（上巻,下巻タイムアップ）
12	ブロック（フロント～サイド）	39	レベルチェック
13	フロント～サイド	40	フロント～サイド（タイムアップ）
14	フロント～サイド	41	フロント～サイド（タイムアップ）
15	フロント～サイド	42	フロント～サイド（タイムアップ）
16	レベルチェック	43	フロント～サイド（タイムアップ）
17	フロント～サイド	44	レベルチェック
18	フロント～サイド	45	衛生含む実技練習
19	フロント～サイド	46	衛生含む実技練習
20	フロント～サイド	47	全項（タイムアップ）
21	レベルチェック	48	全項（タイムアップ）
22	衛生含む実技練習	49	全項（タイムアップ）
23	衛生含む実技練習	50	試験
24	全項	51	ワインディングコンテスト練習
25	全項	52	ワインディングコンテスト練習
26	レベルチェック	53	ワインディングコンテスト練習
27	全項	54	ワインディングコンテスト

2025年度シラバス

開講年度	2025年度	科目名	美容実習 (その他)	学年	1年
担当教員	海野知子 ・磯部丈二 ・林成美 ・中村仁美	学科	美容科	時間数	100コマ

授業内容	国家試験合格に向け、集中的に課題に取り組む
授業目標	オールウェーブセッティング用ウィッグの作成、 国家試験（衛生の練習） サロン実習を通し、現場を知る SNSの授業
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容			
1	シザーの使い方、ヘアアレンジ	16	撮影
2	シザー、レザーの使い方	17	衛生
3	オールウェーブセッティングウィック作成（カット）	18	衛生
4	オールウェーブセッティングウィック作成（カット）	19	衛生
5	オールウェーブセッティングウィック作成（カット）	20	衛生
6	オールウェーブセッティングウィック作成（カット）		
7	オールウェーブセッティングウィック作成（カット）		
8	オールウェーブセッティングウィック作成（カット）		
9	ロッド巻き・薬液処理		
10	ロッド巻き・薬液処理		
11	ロッド巻き・薬液処理		
12	研修		
13	研修		
14	撮影		
15	撮影		

2025年度シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティービジネス	学年	1 年
担当教員	海野知子 ・ 中村仁美・林成美 ・ 磯部丈二	学科	美容科	時間数	50コマ

授業内容	美容サービスの一端として行うカウンセリングの意義、目的、内容、実施上の留意点などについて、 実地に即した課題を提起し自らが学び、美容師の業務を全うするためには、正確な技術を提供するとともに、 顧客の要望に応じた適切なカウンセリングの実施が重要であることを知る。
授業目標	人間力アップ・働く心構え
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】

授業計画及び学習の内容			
1	入学時と現状	16	就職活動について
2	クラス目標	17	1年間振り返り、次年度の目標
3	キャリアデザイン今後の進め方	18	発表準備
4	美容業界について	19	発表準備
5	現場で活躍する先輩の話を聞く	20	夢の発表
6	夏休み期間中の宿題、課題について		
7	働くとは		
8	店舗見学発表		
9	若手卒業生から話を聞く授業		
10	長所、短所		
11	冬休み課題発表		
12	店舗見学発表		
13	ジョブフェアについて		
14	履歴書作成		
15	面接練習		

2025年度シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ヘアケアー	学年	1年
担当教員	海野知子 ・磯部丈二 ・林成美 ・中村仁美	学科	美容科	時間数	60コマ

授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を得得る技術を得得るため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を得得させる。 美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。
授業目標	シャンプーの流れ、手技を学ぶ 気持ちの良いシャンプーを心掛ける
成績評価方法	・出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	板書・（ウィッグ）手技確認	16	バックシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ TR
2	ブレーンリンス	17	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ
3	ブレーンリンス	18	バックシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ
4	サイドシャンプー・ブラッシング	19	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ
5	サイドシャンプー・ブラッシング・ドライ	20	バックシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ
6	バックシャンプー・ブラッシング・ドライ		
7	バックシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ		
8	バックシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ		
9	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ		
10	バックシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ		
11	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ		
12	バックシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ		
13	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ		
14	バックシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ		
15	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ブロードライ TR		

2025年度シラバス

開講年度	2025年度	科目名	トータルビューティ (ヘアスタイリストコース)	学年	1年
担当教員	磯部丈二・中村に美	学科	美容科	時間数	244コマ
授業内容	基本的技術から発展させた高度な技術・知識を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。 常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、 専門技術者としての心構えを身に付けさせること。				
授業目標	現場に基づいた技術やサロンワークを学ぶ 著名アーティストの技を見る 毛髪知識の理解を高める				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対しての習熟度・提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度・提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニター等を使って随かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。				

授業計画及び学習の内容			
1	カット	24	ヘッドスバ
2	ヘアカラー	25	コンテスト仕込み（カット・カラー）
3	カット	26	コンテスト仕込み（カット・カラー）
4	ヘアカラー	27	コンテスト仕込み（カット・カラー）
5	カット	28	コンテスト仕込み（カット・カラー）
6	ヘアカラー	29	コンテスト仕込み（カット・カラー）
7	アレンジ	30	コンテスト仕込み（カット・カラー）
8	メイク	31	展示用ウィッグの作成（カット、カラー、アレンジ）
9	アレンジ	32	展示用ウィッグの作成（カット、カラー、アレンジ）
10	メイク	33	展示用ウィッグの作成（カット、カラー、アレンジ）
11	アレンジ・メイク	34	展示用ウィッグの作成（カット、カラー、アレンジ）
12	カラーカット	35	ヘアケア検定に向けての授業
13	レザーカット	36	ヘアケア検定に向けての授業
14	パーマ	37	ヘアケア検定に向けての授業
15	ストパー	38	ヘアケア検定に向けての授業
16	パーマ	39	ヘアケア検定に向けての授業
17	刈り上げ・スタイリング	40	ヘアケア検定に向けての授業
18	メンズパーマ	41	授業見学会
19	カラーカット	42	発表準備
20	サロンワーク	43	発表準備
21	撮影	44	発表準備
22	メンズパーマ	45	夢の発表
23	撮影		

2024年度シラバス					
開講年度	2025年度	科目名	トータルビューティ (ヘアメイクコース)	学年	1年
担当教員	林 成美	学科	美容科	時間数	244コマ
授業内容	基本的技術から発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学びさせること。 常に新しい技術の吸収を促す。また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。				
授業目標	プロからの技術を学ぶ ヘアメイクや作品盛り等現場の技術を学ぶ				
成績評価方法	・出席80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出席70％×80％＝習熟度、提出物70点×10％＝授業態度100点×10％ ＝56点・7点・10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容実習で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。				
授業計画及び学習の内容					
1	ヘアアレンジ(ビンの止め方・編み込み・1スタイル作る)	24	撮影		
2	メイク（ブライマリー セッティング・化粧水・乳液・ファンデーション手順）	25	ブライダル撮影		
3	ヘアアレンジ（コテの巻き方・リボン・ギブソントッグ・カチ編ヘア）	26	クセランバサランデモンストレーション		
4	メイク（ブライマリー アイブロウ・アイメイク・ハイライト・シェーディング）	27	ヘッドスパ		
5	ヘアアレンジ（アップ・ダウンスタイル）メイクブライマリー（前回の復習・チェック・リップ）	28	コンテスト		
6	ヘアアレンジ（韓国風）メイクブライマリー（前回の復習）	29	コンテスト		
7	ヘアアレンジ応用・メイクブライマリー（前回の復習）	30	コンテスト		
8	ブライマリー検定へ向けて練習・アレンジコンテスト練習	32	展示用ウィッグの作成（カット、カラー、アレンジ）		
9	ブライマリー検定へ向けて練習・アレンジコンテスト練習	33	展示用ウィッグの作成（カット、カラー、アレンジ）		
10	メイクブライマリー検定	34	展示用ウィッグの作成（カット、カラー、アレンジ）		
11	アレンジコンテスト	35	ヘアケア検定に向けての授業		
12	メイクアドバンス・マツエク	36	ヘアケア検定に向けての授業		
13	メイクアドバンス・マツエク	37	ヘアケア検定に向けての授業		
14	MACデモンストレーション・ブライダル見学	38	ヘアケア検定に向けての授業		
15	マツエク・RMK展示（デモンストレーション）	39	ヘアケア検定に向けての授業		
16	メイクアドバンス・マツエク	40	ヘアケア検定に向けての授業		
17	メイクアドバンス・マツエク	41	授業見学会		
18	マツエク検定日・メイクアドバンス	42	発表準備		
19	メイクアドバンス・マツエク	43	発表準備		
20	メイクアドバンス（検定前準備）	44	発表準備		
21	ブライダルメイク	45	夢の発表		
22	撮影	46	夢の発表		
23	ブライダルメイク				

2025年度シラバス

開講年度	2025年度	科目名	トータルビューティー (韓国ビューティークース)	学年	1年
担当教員	海野知子	学科	美容科	時間数	244コマ
授業内容	基本的技術から発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。 常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、 専門技術者としての心構えを身に付けさせること。				
授業目標	韓国ビューティーを学ぶ TOPIK3級を目指す				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。				

授業計画及び学習の内容			
1	韓国語/アレンジ（道具の使い方）	24	韓国語/撮影
2	韓国語/アレンジ（アイロンの使い方）	25	撮影フォトスタジオ
3	韓国語/アレンジ（逆毛の使い方）	26	韓国ヘアメイク
4	韓国語/アレンジ（シニョンスタイル）	27	韓国ヘアメイク
5	韓国語/アレンジ（リボンヘアスタイル）	28	韓国ヘアメイク
6	韓国語/アレンジ（ブチコンテスト）	29	韓国語
7	韓国語/メイク（デモンストレーション）	30	韓国語
8	韓国語/メイク（肌の作り方）	32	韓国語
9	韓国語/メイク（目元メイク）	33	韓国語
10	韓国語/メイク（スキャンクア）	34	韓国語
11	韓国語/アレンジ（フルメイク）	35	ヘアケア検定に向けての授業
12	韓国語/アレンジ（フルメイク）	36	ヘアケア検定に向けての授業
13	韓国語TOPIKの解き方	37	ヘアケア検定に向けての授業
14	韓国語/カット（レイヤースタイル）	38	ヘアケア検定に向けての授業
15	韓国語/カット（レイヤースタイル）	39	ヘアケア検定に向けての授業
16	韓国語/カット（レイヤースタイル）	40	ヘアケア検定に向けての授業
17	韓国語TOPIK模試	41	授業見学会
18	チマチョゴリ体験	42	発表準備
19	韓国語/カット（レイヤースタイル）	43	発表準備
20	韓国語/カット（レイヤースタイル）	44	発表準備
21	韓国語/カット（レイヤースタイル）	45	夢の発表
22	韓国語/スタイリングデモンストレーション	46	夢の発表
23	韓国語/撮影		

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	運営管理	学年	2 年
担当教員	野上淳	学科	美容科	時間数	30コマ

授業内容	・経営者の視点として、経営戦略、業界の概要、資金管理について ・労務管理、社会保険について ・サービス、マーケティング、接客について
授業目標	・国家試験合格のための知識を身につける ・経営者としての基礎知識を学ぶ ・マーケティング、顧客についての考え方、接客などの美容の仕事について必要なことを学ぶ
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 国家試験重要項目については、解説の後、内容をまとめたプリントに学生が記入していく。その他の項目は板書を中心に解説を行う。 授業の方法のみ

授業計画及び学習の内容			
1	経営とは何か	19	労働保険
2	理容業・美容業の経営	20	健康・安全な職場環境
3	サービス・デザイン	21	公的年金の復習
4	サービス・マーケティング	22	医療保険の復習
5	サービスにおける人の役割	23	労働保険の復習
6	資金の管理	24	試験範囲復習
7	税金について	25	試験解説
8	税金の申告	26	国家試験対策
9	人という資源	27	国家試験対策
10	労働者の権利	28	国家試験対策
11	試験範囲復習	29	国家試験対策
12	試験範囲復習	30	国家試験対策
13	試験解説	31	
14	公的年金	32	
15	公的年金	33	
16	医療保険	34	
17	医療保険	35	
18	労働保険		

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	関係法規	学年	2年
担当教員	高橋由香	学科	美容科	時間数	30コマ

授業内容	美容師法や美容業に関連する様々な法規について学び、美容師として社会で働くために、開設者として美容業を営む上で遵守すべき法令や知識を学びます。 第1章では社会における法の役割、法の種類及び衛生法規について、第2章では国と地方の行政の関係、衛生行政及び保健所について、第3章では理容師法・美容師法について、第4章では美容師として業を行う際に関係のある代表的な12の法律について学びます。
授業目標	基本的な法律用語や知識を覚え、美容師・経営者（開設者）が遵守すべき法令を理解する。 美容師国家試験に合格し、美容の業を適正に行う美容師になることを目指します。
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 教科書に沿って作成したプリントを配布。プリントはノート兼、重要な語句を覚えるためのものでカッコの穴埋め式。 黒板に板書した語句や説明をプリントに記入しながら授業を進めていきます。教科書を読み、マーカーペン等で線を引ながら重点箇所を確認します。 授業の方法のみ

授業計画及び学習の内容			
1	法の種類を効力の大きい順に覚える。本科目の説明・第1章：法制度の概要 第1節：社会生活における法の役割、第2節：法の形式	19	美容業の業の振興に関する法律を知る。業の振興に関する法律
2	美容業関係の法令を覚える。第2節：法の形式	20	美容業の雇用に関する法律を知る。雇用に関する法律
3	衛生法規、衛生行政の意義を知る。第3節：衛生法規の概要 第2章：衛生行政の概要 第1節：衛生行政の意義と歴史	21	美容業の消費者保護に関する法律を知る。消費者保護に関する法律 練習問題（関連法規）
4	保健所の役割、保健所を設置できる機関を覚える。第2節：衛生行政の分類 第3節：衛生行政を担う行政機関（保健所の役割）	22	学科試験対策 確認テスト（第4章） 練習問題（行政処分と罰則）
5	美容師法第1条と第2条を暗記する。確認テスト（第1章・第2章）第3章：美容師法、第1節：目的、第2節：用語の定義	23	学科試験対策 練習問題（第3章）
6	美容師になるまでの流れを理解する。第3節：人（美容師）に関する規定 第3節：人（美容師）に関する規定	24	後期のまとめ（学科試験対策）
7	美容師になるまでの流れを理解する。美容師試験 免許と登録、免許の欠格条件	25	後期学科試験の振り返り
8	美容師の義務を理解する。美容師の義務 美容師の衛生措置、美容師免許の変更などの手続き	26	国家試験対策 練習問題（国家試験過去問題）
9	管理美容師とは何かを理解する。業務停止・免許取消及び再免許 管理美容師	27	国家試験対策 筆記試験対策（第1章・第2章）
10	美容所を開設するための手続きについて理解する。第4節：施設（美容所）に関する規定 美容所の開設、検査確認	28	国家試験対策 筆記試験対策（行政処分と罰則）
11	学科試験につながるように勉強する。前期のまとめ（学科試験対策）	29	国家試験対策 筆記試験対策（第3章）
12	学科試験につながるように勉強する。前期のまとめ（学科試験対策）	30	国家試験対策 筆記試験対策（第4章）
13	美容所を開設するための手続きについて理解する。前期学科試験の振り返り 第4節：施設（美容所）に関する規定 開設者の継承・重複開設		
14	開設者の衛生措置（義務）を理解する。開設者が講ずべき衛生措置 美容所以外での業務		
15	美容業と保健所の関係性を理解する。確認テスト（第3章-2）第5節：立入検査と環境衛生監視員		
16	行政処分を暗記する。第6節：違反者に対する行政処分 免許取消処分・業務停止処分・美容所の閉鎖命令		
17	行政処分と罰則を暗記する。第7節：罰則・30万円以下の罰金 練習問題（行政処分と罰則）		
18	美容業の衛生に関する法律を知る。確認テスト（行政処分と罰則）第4章 関連法規 衛生に関する法律		

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	衛生管理 (公衆衛生)	学年	2年
担当教員	大久保 幸美	学科	美容科	時間数	30コマ

授業内容	「公衆とは何か」「衛生とは何か」といった基礎的な部分から公衆衛生・環境衛生を理解する。「公衆」といういわゆる「社会」における美容師業の責務や位置付けについて学ぶ。
授業目標	公衆衛生においては、我が国の公衆衛生の歴史や近年の動向を学習し、また保健所の業務や役割を知る。環境衛生においては、人間が快適に生きるためにはどのような環境が必要かを学び、それを実践に繋いでいけるよう知識を習得する。後半は国家試験を意識し、これまでに国家試験で出題された箇所を重点的に復習する。何度も模擬試験等を繰り返すことで、より知識を確実なものにしていき、国家試験合格に導いていく。
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 対面・パワーポイント（モニター）を使用 授業の方法のみ

授業計画及び学習の内容			
1	公衆衛生① 公衆衛生とはなにか その意義と役割、歴史	19	環境衛生 全範囲
2	公衆衛生② 美容師と公衆衛生 保健所 母子保健	20	後期試験対策①
3	公衆衛生③ 母子保健の意義 母性・小児の健康管理	21	後期試験対策②
4	公衆衛生④ 成人の保健の動向について学ぶ	22	後期試験対策③
5	公衆衛生⑤ 健康増進対策 健康日本21・がん	23	後期試験対策④
6	公衆衛生⑥ 心血管障害・糖尿病 COPD・喫煙・アルコール	24	後期試験対策⑤
7	公衆衛生⑦ 高齢者の保健と福祉 精神保健	25	過去問 第46/46回
8	公衆衛生 全範囲 2択問題 ①	26	過去問 第47/46回
9	公衆衛生 全範囲 2択問題 ②	27	過去問 第48/44回
10	前期試験対策①	28	過去問 第49/42回
11	前期試験対策②	29	過去問 第41/40回
12	前期試験対策③	30	国試対策 公衆衛生・環境衛生 総復習
13	環境衛生① 環境衛生とは何か 美容業と環境衛生について		
14	環境衛生② 空気環境とそれがもたらす様々な害について学ぶ		
15	環境衛生③ 温熱環境・気流について その人体への影響を学ぶ		
16	環境衛生④ 衣服・住居の衛生 衣服・住居の役割		
17	環境衛生⑤ 換気・冷暖房 上下水道		
18	環境衛生⑥ 廃棄物・衛生害虫 環境保全		

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	香粧品化学	学年	2年
担当教員	黒澤正樹	学科	美容科	時間数	30コマ

授業内容	国家試験の問題を分析すると、深い理解を問う問題よりも、幅広い知識（特にその單元ごとにおける語句の理解）を問う問題が増えている傾向がみられる。よって、各單元を深く掘り下げることも、国家試験に頻出される言葉を繰り返し学習させ、明確に記憶できるように心がけながら自信をもって取り組めるようにする。後期は過去問やオリジナルの4択問題演習及び解説を中心に国家試験合格をより確実にさせる。
授業目標	香粧品等に関する化学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てることをねらいとし、香粧品や化学の基本原理や応用について習得させる。最終的には国家試験に対応できるしっかりとした学力を習得させる。
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 授業に関しては、教科書の重要語句などの穴埋め問題まとめ・4択問題・〇×問題などの演習を繰り返しながら、国家試験に対するより確実な理解を充実させていく。 講師紹介：高校受験・大学受験の塾や予備校において、40年にわたり化学や物理（教科書内容から受験レベルまで）の指導をしているベテラン講師。

授業計画及び学習の内容			
1	香粧品化学1年内容復習1（1年で学習した内容の総復習）	19	国家試験対策演習及び解説1（4択問題・〇×問題）
2	香粧品化学1年内容復習2（重要語句確認および4択・〇×問題演習）	20	国家試験対策演習及び解説2（4択問題・〇×問題）
3	メイクアップ製品 ファンデーション、口紅、頬紅、アイシャドー、ネイルなど	21	香粧品総復習3
4	ヘアケア・ヘアメイクアップ シャンプー、リンス、スタイリング剤など	22	後期学科試験対策1（重要語句暗記まとめ）
5	パーマ剤 パーマメントウェーブ用剤、パーマの原理	23	後期学科試験対策2（4択問題演習）
6	1から5までの復習・確認演習	24	後期学科試験対策3（〇×問題演習）
7	ヘアカラー ヘアカラー製品（一時染毛料、半永久染毛料、永久染毛料）	25	後期学科試験解説および総合問題
8	染毛剤・スカルプ製品 酸化染毛剤、ブリーチ剤など	26	国家試験対策重要語句 確認および4択問題演習
9	香粧品総復習 これまでの学習内容の総復習	27	冬休み重要語句まとめ（一問一答問題を含む）
10	前期重要事項暗記まとめ 香粧品総復習および重要事項の暗記	28	国家試験対策重要語句 確認および4択問題演習
11	前期学科試験対策（4択問題演習）	29	国家試験対策直前チェック
12	前期学科試験対策（〇×問題演習）	30	国家試験対策直前チェック
13	前期学科試験解説および総合問題		
14	香粧品総合問題復習（4択問題演習）		
15	香粧品総合問題復習（4択問題演習）		
16	国家試験対策過去問1		
17	国家試験対策過去問2		
18	香粧品総復習2		

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	保健 (人体)	学年	2年
担当教員	大須賀範子	学科	美容科	時間数	45コマ

授業内容	人体の構造や機能について学び、理解を深める。頭や顔を中心とする人間の美と健康に携わる職業を目指すにあたり、保健衛生分野における人体の構造や機能について深い知識を得る。				
授業目標	美容師は、国家資格であり、美容師が、安全で良質なサービスを提供するためには「美と健康」に関する専門的な知識が必要とされる。そのため、国家試験の筆記にもこれに関連した出題がある。従って				
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 授業プリントを使用し、重要事項は教科書にアンダーラインをひく。各章終了ごとに確認テストを行う。 授業の方法のみ				

授業計画及び学習の内容			
1	体表解剖 人体各部の名称	19	循環系 大循環、小循環、門脈循環
2	骨格系 構造 造血作用 連結（縫合、関節）	20	循環系 リンパ管系
3	骨格系・筋系 頭蓋骨 胸郭 上肢骨 下肢骨 骨盤 筋の種類と神経支配	21	呼吸器系 呼吸の概要 ガス交換 気道
4	筋系 頭頸部の筋 咀嚼筋、表情筋	22	呼吸器系 咽喉、喉頭 気管、気管支 肺 呼吸運動
5	筋系 体幹の筋他	23	消化器系 口腔 唾液腺 肝臓と膵臓 胃 腸
6	神経系 中枢神経 脳と脊髄	24	消化器系 消化管の働き 代謝
7	神経系 中枢神経 脳と脊髄 末梢神経 体性神経、（知覚神経、運動神経） 自律神経	25	後期学科試験対策 練習問題
8	神経系 末梢神経 自律神経（交感神経 副交感神経）	26	後期学科試験の解説
9	感覚器 眼、耳（聴覚、）	27	国家試験対策 重要事項総復習（表情筋、）
10	感覚器 耳（平衡感覚）味覚 嗅覚	28	国家試験対策 重要事項総復習（血液）
11	前期学科試験対策 重要事項総復習	29	国家試験対策 重要事項総復習（神経）
12	前期学科試験対策 試験対策練習問題	30	国家試験対策 重要事項総復習（循環他）
13	前期学科試験の解説	31	国家試験対策 重要事項総復習（感覚器）
14	血液と免疫 血液		
15	血液と免疫 免疫		
16	血液と免疫 アレルギー		
17	循環系 血液の循環経路の概要 心臓の構造		
18	循環系 心臓の構造 血管の構造 種類		

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	文化論	学年	2年
担当教員	西澤レイ	学科	美容科	時間数	30コマ
授業内容	2年次の文化論では、西洋の文化史における理容・美容の成り立ちについて学んでいく。各時代の人々が、どのような時代背景の中で、どのような美しさを求めたのかを知り、現代に繋がる「美しさ」の変遷を見ていく。また、理容師・美容師として関わる文化的慣習として冠婚葬祭、主に婚礼があるが、そこで着用される礼装の種類について、服装と髪型の組み合わせを歴史の流れから紐解き、どのようにして現代の形にたどりついたのかを学ぶ。				
授業目標	理容・美容の歴史を学ぶことで、今求められている「美しさ」を知る手掛かりとしたり、創造の糧として活かせるように文化論の知識を習得する。礼装の種類は、和装編・洋装編ともに、それぞれの名称や特徴をしっかりと覚える。				
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 講義形式。持ち物は、文化論 指定教科書、ノート、プリントを保管するファイル、筆記用具。 授業の方法のみ				

授業計画及び学習の内容			
1	ファッション文化史 西洋編 (古代エジプト・古代ギリシャ・ローマ・古代ゲルマン)	19	ファッション文化史 日本編 (国家試験範囲) 総復習⑥1960年代～1970年代
2	ファッション文化史 西洋編 (中世ヨーロッパ・近世Ⅰ (16世紀))	20	ファッション文化史 日本編 (国家試験範囲) 総復習⑦1980年代
3	ファッション文化史 西洋編 (近世Ⅱ (17世紀)・近世Ⅲ (18世紀))	21	国家試験過去問演習 国家試験過去問を解かせる
4	ファッション文化史 西洋編 (近代Ⅰ (18世紀末～)・近代Ⅱ (19世紀))	22	後期試験対策 礼装の種類 の復習
5	ファッション文化史 西洋編 (現代Ⅰ (1910年代～1920年代))	23	後期試験対策 ファッション文化史日本編の復習
6	ファッション文化史 西洋編 (現代Ⅱ (1930年代～)・現代Ⅲ (～1950年代))	24	後期試験対策 ファッション文化史日本編の復習
7	ファッション文化史 西洋編 (現代Ⅳ (1960年代))	25	後期試験の解答と解説
8	ファッション文化史 西洋編 (現代Ⅴ (1970年代))	26	国家試験対策 (和装礼装)
9	ファッション文化史 西洋編 (現代Ⅵ (1980年代)・現代Ⅶ (1990年代～2010年))	27	国家試験対策 (洋装礼装)
10	礼装の種類 和装の礼装	28	国家試験対策 (ファッション文化史日本歴史編)
11	礼装の種類 洋装の礼装	29	国家試験対策 (ファッション文化史日本歴史編)
12	前期試験対策	30	国家試験対策 (総合)
13	前期試験の解答と解説		
14	礼装の種類 総復習①和装の礼装		
15	礼装の種類 総復習②洋装の礼装		
16	ファッション文化史 日本編 (国家試験範囲) 総復習③明治時代		
17	ファッション文化史 日本編 (国家試験範囲) 総復習④大正・昭和時代		
18	ファッション文化史 日本編 (国家試験範囲) 総復習⑤1945年～1950年代		

2025年度シラバス

開講年度	2025年度	科目名	美容技術理論	学年	2年
担当教員	・太田優一 ・金川よし子 ・佐々木晴	学科	美容科	時間数	60コマ
授業内容	技術にはその裏付けとなる理論が必要である。 理論を理解することで、技術が生きてくることを理解する。				
授業目標	美容師資格を取得するため基礎から学び理解する 国家試験受験のため理解度のレベルを上げる				
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	【講義】 最終に国家試験で重要な語句や説明を板書しながら授業を進めていきます。教科書を読み、重要事項は教科書にアンダーラインをひく。各章終了ごとに確認テストを行う。 授業の方法のみ				

授業計画及び学習の内容			
1	エステティック（肌質と種類・基本手技）	31	前期本試験問題の解答解説
2	エステティック（フェイシャルケア技術・マッサージ）	32	ヘアカッティング復習①
3	エステティック（フェイシャルパック・ボディケア）	33	ヘアカッティング復習②
4	エステティック復習	34	ヘアカッティング復習③
5	エステティック章末確認テスト 4択問題	35	ヘアカッティング復習④
6	メイクアップ（用具の種類と消毒方法・スキンケア）	36	パーマメントウェービング復習①
7	メイクアップ（ベースメイク～ブラッシュアップメイクアップ）	37	パーマメントウェービング復習②
8	メイクアップ（アイブロウメイク～アイメイクアップ）	38	パーマメントウェービング復習③
9	メイクアップ（リップメイク～肌質一覧表）	39	パーマメントウェービング復習④
10	メイクアップ（まつ毛エクステンション）	40	ヘアセッティング復習①
11	メイクアップ復習	41	ヘアセッティング復習②
12	メイクアップ章末確認テスト 4択問題	42	ヘアセッティング復習③
13	日本髪（日本髪の由来～種類と特徴）	43	ヘアセッティング復習④
14	日本髪（調和～道具）	44	ヘアセッティング復習⑤
15	日本髪（結髪技術～手入れ） 日本髪章末確認テスト 4択問題	45	ヘアカラーリング復習①
16	着付けの理論と技術（着付けの目的～着物のいろいろ1）	46	ヘアカラーリング復習②
17	着付けの理論と技術（着付けの目的～着物のいろいろ2）	47	ヘアカラーリング復習③
18	着付けの理論と技術（着付けの目的～着物のいろいろ3）	48	ヘアカラーリング復習④
19	着付けの理論と技術（帯・小物）	49	ヘアカラーリング復習⑤
20	着付けの理論と技術（各部の名称～一般的要素）	50	復習 美容理論まとめテストⅠ―①
21	着付けの理論と技術（留袖・振袖技術）	51	復習 美容理論まとめテストⅠ―②
22	着付けの理論と技術（男子・袴・婦礼・ドレス）	52	復習 美容理論まとめテストⅡ―①
23	着付けの理論と技術章末確認テスト 4択問題	53	復習 美容理論まとめテストⅡ―②
24	前期試験総復習（4択 総合問題）	54	後期試験総復習（4択 総合問題）
25	前期試験総復習（4択 総合問題）	55	後期試験総復習（4択 総合問題）
26	前期試験総復習（4択 総合問題）	56	後期試験総復習（4択 総合問題）
27	前期試験総復習（4択 総合問題）	57	後期試験総復習（4択 総合問題）
28	前期試験総復習（4択 総合問題）	58	後期試験総復習（4択 総合問題）
29	前期試験総復習（4択 総合問題）	59	後期試験総復習（4択 総合問題）
30	前期試験総復習（4択 総合問題）	60	後期本試験問題の解答解説 国家試験対策

2025年度シラバス

開講年度	2025年度	科目名	実習実習	学年	2年
担当教員	・太田俊一 ・金川よし子 ・松々木南	学科	美容科	時間数	444分
授業内容	美容の業務を安全かつ効率的に実施する技術を習得するため、基本的操作も適宜組み合わせで完成させる技術を習得させる。 美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。				
授業目標	国家試験課題を解解し合格へと導く				
成績評価方法	成績評価は実技70点以上・衛生的姿勢以上合格かつ指定の出席率を上回った場合、単位を認める。 実技70点以下・衛生70点以下は再試験を受けなければならない。合格点は再試験と同じ。				
授業の方法 及び 講義紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容実習で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。				

授業計画及び学習の内容			
1	国家試験対策	53	国家試験対策
2	国家試験対策	54	国家試験対策
3	国家試験対策	55	国家試験対策
4	国家試験対策	56	国家試験対策
5	国家試験対策	57	国家試験対策
6	国家試験対策	58	国家試験対策
7	国家試験対策	59	国家試験対策
8	国家試験対策	60	国家試験対策
9	国家試験対策	61	国家試験対策
10	国家試験対策	62	国家試験対策
11	国家試験対策	63	国家試験対策
12	国家試験対策	64	国家試験対策
13	国家試験対策	65	国家試験対策
14	国家試験対策	66	国家試験対策
15	国家試験対策	67	国家試験対策
16	国家試験対策	68	国家試験対策
17	国家試験対策	69	国家試験対策
18	国家試験対策	70	国家試験対策
19	国家試験対策	71	国家試験対策
20	国家試験対策	72	国家試験対策
21	国家試験対策	73	国家試験対策
22	国家試験対策	74	国家試験対策
23	国家試験対策	75	国家試験対策
24	国家試験対策	76	国家試験対策
25	国家試験対策	77	国家試験対策
26	国家試験対策	78	国家試験対策
27	国家試験対策	79	国家試験対策
28	国家試験対策	80	国家試験対策
29	国家試験対策	81	国家試験対策
30	国家試験対策	82	国家試験対策
31	国家試験対策	83	国家試験対策
32	国家試験対策	84	国家試験対策
33	国家試験対策	85	国家試験対策
34	国家試験対策	86	国家試験対策
35	国家試験対策	87	国家試験対策
36	国家試験対策	88	国家試験対策
37	国家試験対策	89	国家試験対策
38	国家試験対策	90	国家試験対策
39	国家試験対策	91	国家試験対策
40	国家試験対策	92	国家試験対策

41	国家試験対策	93	国家試験対策
42	国家試験対策	94	国家試験対策
43	国家試験対策	95	国家試験対策
44	国家試験対策	96	国家試験対策
45	ヘアショー準備	97	国家試験対策
46	ヘアショー準備	98	国家試験対策
47	ヘアショー準備	99	国家試験対策
48	ヘアショー準備	100	国家試験対策
49	ヘアショー準備	101	国家試験対策
50	ヘアショー準備	102	国家試験対策
51	ヘアショー準備	103	国家試験対策
52	ヘアショー準備	104	国家試験対策

2025年度シラバス

開講年度	2025年度	科目名	実習 (SNS)	学年	2年
担当教員	・太田俊一 ・金川よし子 ・佐々木萌	学科	美容科	時間数	12コマ

授業内容	S N S マーケティングの基礎知識の習得及び撮影技術の向上
授業目標	将来の夢に向かっての一歩を歩むために、就職活動に必要なスキルを身につけさせる。授業を通じて、社会に必要な人間力をアップさせる。社会で働くことの心構えを身につけさせる。
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 ・講義で学んだ知識を相モデルにて実践。アドバイスも含めながら撮影技術およびSNS投稿の向上を目指す。

授業計画及び学習の内容			
1	エンゲージメント向上 フォロワー数増加 イメージの確立 SEO		
2	tiktok リールの銅が撮影技術 インスタのアドバイス		
3	tiktok 相モデル撮影トレーニングとアドバイス		
4	インスタ 相モデル撮影とアドバイス		
5	卒業制作		

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ヘアケアー	学年	2年
担当教員	・太田俊一 ・金川よし子 ・佐々木萌	学科	美容科	時間数	60コマ

授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を得得する技術を得得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を得得させる。 美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。
授業目標	シャンプーの手法を学ぶ 気持ちの良いシャンプーを心掛ける
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	サイドシャンプー	16	トリートメント
2	リアシャンプー	17	ヘッドスパ
3	サイドシャンプー・リアシャンプー	18	トリートメント
4	サイドシャンプー・リアシャンプー	19	ヘッドスパ
5	サイドシャンプー・リアシャンプー	20	トリートメント
6	サイドシャンプー・リアシャンプー		
7	サイドシャンプー・リアシャンプー		
8	サイドシャンプー・リアシャンプー		
9	サイドシャンプー・リアシャンプー		
10	サイドシャンプー・リアシャンプー		
11	サイドシャンプー・リアシャンプー		
12	サイドシャンプー・リアシャンプー		
13	サイドシャンプー・リアシャンプー		
14	サイドシャンプー・リアシャンプー		
15	サイドシャンプー・リアシャンプー		

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	コンプリート	学年	2年
担当教員	・太田俊一 ・金川よし子 ・佐々木萌	学科	美容科	時間数	184コマ
授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を得得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を得得させる。 美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。 国家試験に向けた学科対策				
授業目標	国家試験合格のためレベルアップ				
成績評価方法	【実習】 成績評価は実技70点以上・衛生80点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 実技69点以下・衛生79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				

授業計画及び学習の内容			
1	国家試験対策	21	国家試験対策
2	国家試験対策	22	国家試験対策
3	国家試験対策	23	国家試験対策
4	国家試験対策	24	国家試験対策
5	国家試験対策	25	国家試験対策
6	国家試験対策	26	国家試験対策
7	国家試験対策	27	国家試験対策
8	国家試験対策	28	国家試験対策
9	国家試験対策	29	国家試験対策
10	国家試験対策	30	国家試験対策
11	国家試験対策	31	国家試験対策
12	国家試験対策	32	国家試験対策
13	国家試験対策	33	国家試験対策
14	国家試験対策	34	国家試験対策
15	国家試験対策	35	国家試験対策
16	国家試験対策	36	国家試験対策
17	国家試験対策	37	国家試験対策
18	国家試験対策	38	国家試験対策
19	国家試験対策	39	国家試験対策
20	国家試験対策		

2025年度シラバス

開講年度	2025年度	科目名	トータルビューティー (カット・カラーコース)	学年	2年
担当教員	太田俊一	学科	美容科	時間数	60コマ

授業内容	基本的技術をさらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。 常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。
授業目標	プロからの技術を学ぶ カット・カラーリング、撮影の技術を学ぶ パーソナルカラー検定の取得を目指す
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で現場の実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容			
1	撮影		
2	撮影、パーソナルカラー		
3	撮影、パーソナルカラー		
4	カット・カラー、パーソナルカラー		
5	カット・カラー、パーソナルカラー		
6	パーソナルカラー検定		
7	カット・カラー		
8	カット・カラー		
9	コンテストデモスト、準備		
8	コンテスト		

2025年度シラバス

開講年度	2025年度	科目名	トータルビューティー (プロメイクコース)	学年	2年
担当教員	金川よし子	学科	美容科	時間数	60コマ

授業内容	基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。 常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。
授業目標	プロからの技術を学ぶ メイクの応用から特殊メイクの技術を学ぶ カット・スタイリング、撮影技術を学ぶ 化粧品検定の取得を目指す
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容			
1	顔タイプ診断、まつ毛エクステンションデモスト		
2	顔タイプ診断、カット		
3	顔タイプ診断、カット		
4	ヘアメイク撮影		
5	韓国文化体験		
6	化粧品検定、特殊メイク		
7	化粧品検定、特殊メイク		
8	化粧品検定、特殊メイク		
9	化粧品検定、特殊メイク		
10	化粧品検定		

2025年度シラバス

開講年度	2025年度	科目名	トータルビューティー (着付けコース)	学年	2 年
担当教員	佐々木萌	学科	美容科	時間数	60コマ

授業内容	基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。 常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。
授業目標	プロからの技術を学ぶ 浴衣・袴・小紋・振袖の技術、着物に合わせたヘアメイクを学ぶ
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容			
1	浴衣		
2	浴衣、ヘアメイク撮影		
3	浴衣、ヘアメイク撮影		
4	袴		
5	小紋		
6	浅草散策		
7	小紋		
8	振袖		
9	振袖		
10	振袖撮影		

2025年度シラバス

開講年度	2025年度	科目名	トータルビューティ (キャリアデザイン)	学年	2年
担当教員	・太田俊一 ・金川よし子 ・佐々木萌	学科	美容科	時間数	32コマ

授業内容	現場での美容の働き方、携わり方を学ばせる。専門職としての働き方の知識や将来の夢、なりたい職業について考えさせ、卒業してからのビジョンを見つける。
授業目標	将来の夢に向かっての一步を歩むために、就職活動に必要なスキルを身につけさせる。授業を通じて、社会に必要な人間力をアップさせる。社会で働くことの心構えを身につけさせる。
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 実践・グループディスカッションをしながら、聞いたこと、気づいたこと、感じたことをメモしながら進める。 担当教員は、キャリアコンサルタントの経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容			
1	志望サロンについて研究する	10	・ドリームフェスティバル準備
2	志望候補を決める 志望理由を考える		
3	自分を伝える方法を考える 自己PR・学生時代に力を入れたことについて考える		
4	面接に向けての準備を進める 面接でよく聞かれる質問事項の回答を考えてみる		
5	面接練習大会① 基本編		
6	面接練習大会② 応用編1		
7	面接練習大会② 応用編2		
8	・就職活動の振り返り		
9	・ドリームフェスティバル準備		

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	メイクアドバンス (撮影)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	60コマ
授業内容	撮影用メイクを学ぶ SNSに投稿する主に動画撮影の技術を学ぶ				
授業目標	写真映えるメイク技術の習得と、テーマに沿った表現力を身に着ける また、表現力や創造力を高め、それをヘア・メイクに落とし込めることを目標とする				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーション・写真撮影 担当教員は、メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	SNS、動画について	16			
2	動画撮影する上での企画書作成	17			
3	動画撮影・作品 1	18			
4	動画撮影する上での企画書作成	19			
5	動画撮影・作品 2	20			
6	動画撮影する上での企画書作成	21			
7	動画撮影・作品 3	22			
8	動画撮影する上での企画書作成	23			
9	動画撮影・作品 4	24			
10	作品制作・発表	25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	メイクアドバンス (MA)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	48コマ
授業内容	上級レベルのメイク技術を身につける				
授業目標	応用メイク技術の習得と、テーマに沿った表現力を身に着ける 基本的な修正テクニックを修得し、お客様の好みに沿ったメイク、お悩みに答えるメイクが作れる技術を身に付ける				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーション・写真撮影 担当教員は、ヘア・メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	全体イメージを理論的に理解	16			
2	デザイン画	17			
3	作品作り	18			
4	撮影	19			
5	作品作り	20			
6	撮影	21			
7	作品作り	22			
8	撮影	23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度		科目名	メイクアドバンス (ブライダル)	学年	2年
担当教員	勝沼 里巴		学科	トータルビューティー科	時間数	60コマ
授業内容	「結婚式」という特別な儀式での、ヘアー・メイクに求められることを学ぶと同時に、チームワークや協調性気配りなど、働く人としての意識を育てる。					
授業目標	「ブライダル」という、特別な場でのヘアー・メイク技術の習得 ボリュームのあるドレスとのトータルバランスを考えたヘアー・メイクの構築 お客様との接し方を学ぶ					
成績評価方法	・出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）					
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーション・式場見学 担当教員は、ブライダル企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。					
授業計画及び学習の内容						
1	仕事内容・コラージュ作成		16			
2	コラージュ制作		17			
3	ホテル見学（ブライダルの現場を見る）・デモンストレーション		18			
4	ブライダルメイク		19			
5	ブライダルメイク		20			
6	ブライダルメイク・発表		21			
7	ヘアアレンジ		22			
8	ヘアアレンジ		23			
9	ドレス選び・ヘアメイク練習		24			
10	撮影・作品作り		25			
11			26			
12			27			
13			28			
14			29			
15			30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	メイクアドバンス (特殊)	学年	2年
担当教員	若林 あかね	学科	トータルビューティー科	時間数	60コマ
授業内容	一般的なメイクとは異なる化粧の世界を見聞し、メイクの幅を広げ、メイクのプロとしての素養を育てる				
授業目標	一般的なメイク以外の化粧、舞台メイク、歌舞伎化粧、傷、ケロイド等のメイク技術を学ぶと同時に、それぞれに使用する化粧品の種類、用途への知識を学習し、幅広い技術と化粧品知識を身に付ける。				
成績評価方法	・ 出欠80％・ 課題に対する習熟度、提出物10％・ 授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーション実習 担当教員は、メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	デモンストレーション「骸骨メイク」	16			
2	デモンストレーション「老人メイク」	17			
3	デモンストレーション「男性メイク」	18			
4	デモンストレーション「傷、アザ」	19			
5	デモンストレーション「アニマルメイク」	20			
6	デモンストレーション「ゾンビメイク」	21			
7	デモンストレーション「キャラクターメイク」	22			
8	デモンストレーション「ピエロメイク」	23			
9	実習	24			
10	作品作り・撮影	25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーサイエンス (アレンジ)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	14コマ
授業内容	美しさの基本となる、様々な分野の基礎を学び、美容家としての意識を養うと共に、技術の向上、チャレンジ精神、ホスピタリティマインドの意識の向上、育成を目指す				
授業目標	ヘアーという3次元のものを、美しく見せるテクニック、技術を習得し、基本的なアレンジのパターンを学ぶ、ヘアアレンジなど多種多様な美容技術を学ぶ				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	【実習】 デモンストレーション・写真撮影 担当教員は、ヘア・メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	ヘアアレンジ（基礎技術）	16			
2	ヘアアレンジ、パターン1	17			
3	ヘアアレンジ、パターン2	18			
4	ヘアアレンジ、パターン3	19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーサイエンス (試験対策)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	44コマ
授業内容	現場の最前線で役立つスキルを身に付け、社会人として社会に貢献できる人材の育成を目指す。 技術・知識の確認である試験に合格するため、復習と対策を行う				
授業目標	カリキュラム、施設、設備に基づき美容業に従事する者に必要な正しい知識、 技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力を習得する。 各種検定、定期試験合格を目指す				
成績評価方法	・出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、ヘア・メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	前期筆記試験対策	16			
2	前期筆記試験対策	17			
3	前期実技試験対策	18			
4	前期実技試験対策	19			
5	後期筆記試験対策	20			
6	後期筆記試験対策	21			
7	後期実技試験対策	22			
8	後期実技試験対策	23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーサイエンス (パーソナルカラー検定)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	24コマ
授業内容	一般財団法人 日本カラーコーディネーター協会のカリキュラムに準じ「色を広める」という主旨のもと、パーソナルカラーの幅広い活用法を提案し、浸透させる色を活用することで自分自身を客観的に観察したり、コミュニケーション能力を高めビジネスシーンに大きく活用する				
授業目標	パーソナルカラーの探し方や取り入れ方の基礎とそれとなる色彩学の基本を習得する。 自分の外見をもとにした「似合う色」を通じて、より良く自己を印象付ける「自分ブランディング」とは何かを学ぶ パーソナルカラーの検定3級取得を目指す				
成績評価方法	・出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、ヘア・メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	パーソナルカラーの基本	16			
2	色のイメージ	17			
3	「似合う色」の基準を知る	18			
4	「似合う色」を客観的に探す	19			
5	ドレーピング方法	20			
6	「似合う色」を取り入れる	21			
7	検定対策	22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーリレーション	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	144コマ
授業内容	個々の能力や才能に応じた知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、それを通じて人格を形成し、社会に貢献できる人材育成をすることで生涯にわたって成長の機会を提供する。				
授業目標	学校や社会のルールの必要性を考え、適時対応できる能力と身につける。 職場から求められる美容のプロとなる為の経験と教養を養う。 自主性や協調性を身につけ社会に適応する能力を養う。				
成績評価方法	・出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、永年の学生指導経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	始業式	16	学園祭		
2	オリエンテーション	17	学園祭・後夜祭		
3	健康診断	18	校内コンテスト		
4	オリエンテーション	19	校内コンテスト片づけ・振り返り		
5	化粧品検定2級	20	校外学習		
6	パーソナルカラー3級	21	校外学習		
7	前期学科試験	22	化粧品検定1級		
8	前期実技試験	23	後期筆記試験		
9	試験振り返り、コンベ話し合い	24	大掃除		
10	サマフェス準備	25	後期実技試験		
11	サマフェス準備	26	研修		
12	サマフェス準備	27	大掃除		
13	サマフェス準備	28	卒業研修		
14	サマフェス準備	29	卒業式練習		
15	サマフェス準備	30	卒業式練習		

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティービジネス (サロン)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	50コマ
授業内容	現場の最前線で役立つスキルを身に付け、社会人として社会に貢献できる人材の育成を目指す				
授業目標	スチューデントサロンなどで外部からのお客様に接することで、 実際の社会での仕事に活かす技術を磨き、接客業としてのスキルを身に付ける				
成績評価方法	・出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ヘアメイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	スチューデントサロンの運営企画	16			
2	スチューデントサロン準備	17			
3	スチューデントサロン用作品作り	18			
4	スチューデントサロン運営	19			
5	スチューデントサロン準備	20			
6	スチューデントサロン	21			
7	スチューデントサロン	22			
8	スチューデントサロン	23			
9	スチューデントサロン	24			
10	スチューデントサロン	25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティービジネス （化粧品検定2級）	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	43コマ
授業内容	現場の最前線で役立つスキルを身に付け、社会人として社会に貢献できる人材の育成を目指す				
授業目標	化粧品のみならず、皮膚の構造や、解剖学などの基礎知識の理解を深め、化粧品検定1級に合格し、スキルアップを計る				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ヘアメイク企業等で商品開発経験と化粧品検定のコスメコンシェルジュインストラクターであり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	化粧品の歴史	16			
2	化粧品原料と基礎知識（スキンケア化粧品について）	17			
3	化粧品原料と基礎知識（毛髪構造とヘアケア製品について）	18			
4	化粧品原料と基礎知識（ネイルの構造について）	19			
5	化粧品原料と基礎知識（香りの成分と働きについて）	20			
6	化粧品原料と基礎知識（オーラルケア製品について）	21			
7	化粧品原料と基礎知識（サプリメントについて）	22			
8	化粧品にまつわるルールについて（法律、官能試験）	23			
9	検定試験対策	24			
10	日本化粧品検定	25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティービジネス (化粧品検定2級)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	29コマ
授業内容	現場の最前線で役立つスキルを身に付け、社会人として社会に貢献できる人材の育成を目指す				
授業目標	化粧品のみならず、皮膚の構造や、解剖学などの基礎知識の理解を深め、化粧品検定2級に合格し、スキルアップを計る				
成績評価方法	・出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ヘアメイク企業等で商品開発経験と化粧品検定のコスメコンシェルジュインストラクターであり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	皮膚の構造	16			
2	皮膚機能	17			
3	メイクアップの基礎テクニック	18			
4	肌悩みに応じた、化粧品の使い方	19			
5	肌を劣化させる様々な要因	20			
6	紫外線が肌に与える影響	21			
7	効果的なマッサージの必要性和方法・美しい肌を作る生活習慣	22			
8	日本化粧品検定	23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティービジネス (卒業制作)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	45コマ
授業内容	現場の最前線で役立つスキルを身に付け、社会人として社会に貢献できる人材の育成を目指す				
授業目標	自分の思い描いた通りのメイクに仕上げる 様々なジャンルのメイクを作り上げる 様々なジャンルのメイクを自分のものとして表現する				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ヘアメイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	テーマ決め	16			
2	デザイン制作	17			
3	ファッション・ヘアメイク練習	18			
4	作品制作・撮影①	19			
5	作品制作・撮影②	20			
6	作品制作・撮影③	21			
7	作品制作・撮影④	22			
8	卒業制作の動画と論文制作	23			
9	卒業制作発表会	24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ファッションアドバンス (販売)	学年	2年
担当教員	杉浦 咲恵	学科	トータルビューティー科	時間数	6コマ
授業内容	メイクを学ぶ上でも、ファッション感覚、またその歴史を学ぶことは必要不可欠なものであり、トータルバランス感覚を磨きあらゆる女性像に対応できる、グローバルな人間形成を目指す。				
授業目標	トータルバランスの取れたメイクを作る為のファッション感覚を養う あらゆる女性像に対応できる、美的感覚を磨く				
成績評価方法	・出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、アパレル企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	アパレル業界の販売について	16			
2	アパレル業界の販売について	17			
3		18			
4		19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ファッションアドバンス (骨格診断)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	9コマ
授業内容	メイクを学ぶ上でも、ファッション感覚、またその歴史を学ぶことは必要不可欠なものであり、トータルバランス感覚を磨きあらゆる女性像に対応できる、グローバルな人間形成を目指す。				
授業目標	トータルバランスの取れたメイクを作る為のファッション感覚を養う あらゆる女性像に対応できる、美的感覚を磨く				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義・実習 担当教員は、各スクール、企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	体型・形状の種類	16			
2	各パーツのプロポーションと形状	17			
3	骨格診断	18			
4		19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ファッションアドバンス (文化論)	学年	2年
担当教員	西澤　レイ	学科	トータルビューティー科	時間数	36コマ
授業内容	メイクを学ぶ上でも、ファッション感覚、またその歴史を学ぶことは必要不可欠なものであり、トータルバランス感覚を磨きあらゆる女性像に対応できる、グローバルな人間形成を目指す。				
授業目標	トータルバランスの取れたメイクを作る為のファッション感覚を養う あらゆる女性像に対応できる、美的感覚を磨く				
成績評価方法	・出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義・プレゼンテーション・市場調査 担当教員は、ファッション業界で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	古代エジプト・古代ギリシア・ローマ古代ゲルマン・中世ヨーロッパ	16			
2	縄文・弥生・古墳時代（飛鳥・奈良・平安）	17			
3	縄文・弥生・古墳時代（飛鳥・奈良・平安）	18			
4	中世（平安時代末期・鎌倉・戦国時代）	19			
5	中世（平安時代末期・鎌倉・戦国時代）	20			
6	近世（戦国時代末期・安土桃山時代・江戸時代）	21			
7	近世（戦国時代末期・安土桃山時代・江戸時代）	22			
8	近代（明治時代・大正時代・昭和20年まで）	23			
9	近代（明治時代・大正時代・昭和20年まで）	24			
10	現代（1945年～2010年代）	25			
11	現代（1945年～2010年代）	26			
12	礼装の種類（和装・洋装）	27			
13	礼装の種類（和装・洋装）	28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ファッションアドバンス (F応用)	学年	2年
担当教員	杉浦 咲恵、山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	26コマ
授業内容	メイクを学ぶ上でも、ファッション感覚は必要不可欠なものである。 トータルバランス感覚を磨きあらゆる女性像に対応できる人間形成を目指す。				
授業目標	トータルバランスの取れたメイクを作る為のファッション感覚を養う				
成績評価方法	・出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義・プレゼンテーション 担当教員は、アパレル企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	ファッションの流行・動向	16			
2	歌舞伎バックステージ	17			
3	コンテスト用のコーディネートについて	18			
4	コンテスト用のコーディネートについて	19			
5	東京ガールズコレクションにて調査	20			
6	トータルコーディネート	21			
7	トータルコーディネート	22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	メイクテクニカル (BA)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	70コマ
授業内容	美容部員として役立つ接客スキルと販売心理を身に付け、社会に貢献できる人材の育成を目指す				
授業目標	美容部員として実際に店頭に立った時の、接客を身につける。 一般的なメイクとは違うメイクを学んだり、肌質や、用途別の化粧品に実際に触れることで、「化粧品」を知る。 仕事や心構えについて学び、知識を蓄える。				
成績評価方法	・出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義・デモンストレーション 担当教員は、ヘアメイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	美容部員とは	16			
2	販売チャネルについて・百貨店の特性について	17			
3	肌測定	18			
4	百貨店でのタッチアップ技法	19			
5	カウンセリング技法	20			
6	カウンセリング技法	21			
7	カウンセリング技法	22			
8	カウンセリング技法	23			
9	カウンセリング技法	24			
10	カウンセリング技法	25			
11	カウンセリング技法	26			
12	カウンセリング技法	27			
13	カウンセリング技法	28			
14	カウンセリング技法	29			
15	試験対策	30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	メイクテクニカル (ロープレ)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	38コマ
授業内容	ロールプレイング等を通じて上級レベルの接客スキルとメイク技術を身につける。				
授業目標	美容部員として実際に店頭に立った時の、接客を身につける。 一般的なメイクとは違うメイクを学んだり、肌質や、用途別の化粧品に実際に触れることで、「化粧品」を知る。 仕事や心構えについて学び、知識を蓄える。				
成績評価方法	・出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義・デモンストレーション 担当教員は、ヘアメイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	接客心理・販売心理	16			
2	クレーム対応	17			
3	市場調査	18			
4	化粧品学や法律について	19			
5	接客ロールプレイング実習	20			
6	接客ロールプレイング実習	21			
7	接客ロールプレイング実習	22			
8	発表会	23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	メイクテクニカル (M応用)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	45コマ
授業内容	より多くのメイク技法を学び、幅広いメイク技術と知識の習得を目指す。				
授業目標	美容部員として実際に店頭に立った時の、接客を身につける。 一般的なメイクとは違うメイクを学んだり、肌質や、用途別の化粧品に実際に触れることで、「化粧品」を知る。 仕事や心構えについて学び、知識を蓄える。				
成績評価方法	・出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義・デモンストレーション・校外学習 担当教員は、ヘアメイク等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	三善特別講習（歌舞伎メイク）	16			
2	ファッションショーのメイク練習	17			
3	ファッションショーのメイク練習	18			
4	外部ファッションショーのメイクスタッフ体験	19			
5	宝塚メイク	20			
6	三善特別講習（和装花嫁メイク）	21			
7	ヘアメイク技術試験対策・カウンセリング・ロールプレイング	22			
8	ヘアメイク技術試験対策・カウンセリング・ロールプレイング	23			
9	ヘアメイク技術試験対策・カウンセリング・ロールプレイング	24			
10	発表	25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーベーシック (着付け)	学年	2年
担当教員	佐々木 萌	学科	トータルビューティー科	時間数	9コマ
授業内容	美しさの基本となる、様々な分野の基礎を学び、美容家としての意識を養うと共に、技術の向上、チャレンジ精神、ホスピタリティマインドの意識の向上、育成を目指す				
授業目標	普段着用の浴衣を自身で着れる「着付けテクニック」を身に付け、「着物」についての知識も身に付ける				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、着付・美容室で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	着付	16			
2	着付	17			
3	着付	18			
4		19			
5		20			
6		21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度		科目名	ビューティーベーシック (ヨガ)	学年	2年
担当教員	松野 華織		学科	トータルビューティー科	時間数	6コマ
授業内容	美容業に従事する者として成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献する社会人を育成する					
授業目標	正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 人体の構成（筋肉・骨格系） 姿勢やホームケアの運動の実践のアドバイスに生かす					
成績評価方法	80%以上の出席率、授業態度					
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、yogaのインストラクターであり永年の経験や知識により、分かり易い授業展開を行う					
授業計画及び学習の内容						
1	ヨガ			16		
2	ヨガ			17		
3	ヨガ			18		
4				19		
5				20		
6				21		
7				22		
8				23		
9				24		
10				25		
11				26		
12				27		
13				28		
14				29		
15				30		

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーベーシック (アロマ)	学年	2年
担当教員	武 知奈津	学科	トータルビューティー科	時間数	18コマ
授業内容	美しさの基本となる、様々な分野の基礎を学び、美容家としての意識を養うと共に、技術の向上、チャレンジ精神、ホスピタリティマインドの意識の向上、育成を目指す				
授業目標	基本的なアロマの種類、用途を学び、心身ともに日常でのゆとりを生み出すアイテムとして、活用できるようになる AEAJ（アロマ環境協会）アロマ検定1級を目指す				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、エステサロン・各スクールにて永年講義をおこなっており、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	アロマテラピーとは	16			
2	精油学	17			
3	安全性・実践法	18			
4	ビューティー&ヘルスケア	19			
5	歴史	20			
6	アロマに関する法律	21			
7	ワークショップ	22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーベーシック (コンベ)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	60コマ
授業内容	美容業に従事する者として成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献する社会人を育成する				
授業目標	個々の感性や、技術を発揮し、ヘア、メイク、ファッションをテーマに沿ってトータルコーディネートをした作品を制作し、コンテストで披露する				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対する習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ヘアメイク等での実務経験があり、永年の教育現場での経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	デザイン画作成	16			
2	トレーニング	17			
3	トレーニング	18			
4	ヘアメイク練習	19			
5	トレーニング	20			
6	コンテスト仕込み	21			
7	ウォーキング指導・ポージング指導	22			
8	会場の照明・衣装フィッティング	23			
9	メイクショーのリハーサル	24			
10	メイクショーのリハーサル	25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	科目名	ビューティーベーシック (アウトプットプログラム)	学年	2年
担当教員	山口 快絵	学科	トータルビューティー科	時間数	18コマ
授業内容	SNSの特性を知り、スチューデントサロンで集客するための企画をたてる。SNSを活用し集客に繋げるための知識を身に付ける				
授業目標	SNSの特性や、投稿するするための企画力をつけること、投稿のレベルを上げていくことを目的とする				
成績評価方法	・ 出欠80％・課題に対しての習熟度、提出物10％・授業態度10％にて評価を行う。 評価例：出欠70％×80％+習熟度、提出物70点×10％+授業態度100点×10％ ＝56点+7点+10点 ＝73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ヘアメイクの知識とEコマースの実務経験に基づきわかりやすく指導をする。				
授業計画及び学習の内容					
1	TikTok、Instagram、YOUTUBE、絵コンテを作る	16			
2	TikTok、Instagram、YOUTUBE、動画の編集	17			
3	ホームページの特性	18			
4	作品どりなど	19			
5	スチューデントサロンの集客	20			
6	発表会	21			
7		22			
8		23			
9		24			
10		25			
11		26			
12		27			
13		28			
14		29			
15		30			